

上越市
子どもの生活実態に関する
アンケート調査
(保護者対象)

集計結果報告書

令和6年3月

- 目 次 -

I. 調査概要.....	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象及び調査方法	1
3. 配付数、回収数、回収率	1
4. 集計結果の見方	1
II. 調査結果.....	3
1 一般層と困窮層の区分設定	3
2 回答者、世帯について	5
(1) 回答者の続柄	5
(2) 世帯類型	5
3 お子さんの生活について	6
(1) 子どもだけで朝食を食べる頻度	6
(2) 子どもだけで夕食を食べる頻度	7
(3) 降園後、放課後に過ごす場所	8
(4) 長期休暇の日中に過ごす場所	9
(5) 長期休暇中、昼ご飯をとるか	10
(6) 長期休暇中、昼ご飯食べないことが多い、食べない理由	11
(7) 平日、ゲーム機で遊んだり動画を見たりする時間	12
(8) 休日、ゲーム機で遊んだり動画を見たりする時間	13
(9) 家での学習時間	14
(10) お子さんの体験	15
(11) お子さんのことで悩んでいること	16
4 お子さんの学校・教育について	17
(1) お子さんの学校の授業の理解度	17
(2) 希望するお子さんの最終学歴	18
5 あなたについて	19
(1) お子さんの教育費で負担に感じるもの	19
(2) お子さんの世話を頼める人の有無	20
(3) 地域での付き合い	21
(4) 困ったときの相談先	22
(5) 子育てに関する情報の入手方法	23
(6) ひとり親世帯	25
(7) 養育費の取り決めの有無（ひとり親世帯のみ）	25
(8) 養育費の受け取り経験（ひとり親世帯のみ）	26
6 親の就労状況について	27
(1) 父親の就労状況	27
(2) 母親の就労状況	28
7 家計の状況について	29

(1)	必要な食糧を購入できなかった経験の有無	29
(2)	必要な衣類を購入できなかった経験の有無	30
(3)	お子さんの授業に必要な文具や教材を購入できなかった経験の有無	31
(4)	お子さんを塾や習い事に通わせることができなかった経験の有無	32
(5)	電気・ガス・水道料金・電話代の未払いがあった経験の有無	33
(6)	家賃や住宅ローンの滞納した経験の有無	34
(7)	現在の暮らしの状況	35
8	新型コロナウイルス感染症拡大前（令和2年3月以前）と比べて変わったこと ..	36
(1)	在宅勤務など、働き方の変化	36
(2)	家族と過ごす時間の変化	37
(3)	お子さんと話をする機会の変化	38
(4)	新型コロナウイルス禍で困ったことの有無	39
9	上越市の施設や、相談窓口の利用について	41
(1)	こどもセンター	41
(2)	子育てひろば	43
(3)	保育園またはオーレンプラザこどもセンターの一時預かり	45
(4)	ファミリーサポートセンター	47
(5)	ファミリーヘルプ保育園	49
(6)	病児・病後児保育室	51
(7)	子どもほっとライン	53
(8)	すこやかなくらし包括支援センター相談窓口	55
10	子どもの権利について	57
(1)	上越市子どもの権利条例の認知度	57
(2)	上越市子どもの権利学習テキスト「えがお」の認知度	58
(3)	「ヤングケアラー」の認知度	59
11	自由意見（抜粋）	60
(1)	お子さんの生活について	60
(2)	お子さんの学校・教育について	60
(3)	あなたについて	60
(4)	仕事の状況について	61
(5)	家計の状況について	61
(6)	その他	61

I. 調査概要

1. 調査の目的

令和6年度に見直しを予定している「上越市子ども・子育て支援総合計画」検討の基礎資料として、市内の子育て世帯の生活実態等を把握するとともに、子ども・子育て世帯を取り巻く現状や抱えている課題を整理することを目的として実施した。

2. 調査対象及び調査方法

調査対象者	市内の保育園・幼稚園・認定こども園、小学校、中学校、特別支援学校に通う児童、小学校3年生、6年生、中学校2年生の「保護者」
調査票配付数	5,848人
調査期間	令和5年11月22日～12月11日
調査方法	園及び学校を通じて調査協力依頼文を配付し、WEBにより回答してもらった。

3. 配付数、回収数、回収率

下表に配付数、回収数（回収率）を示す。

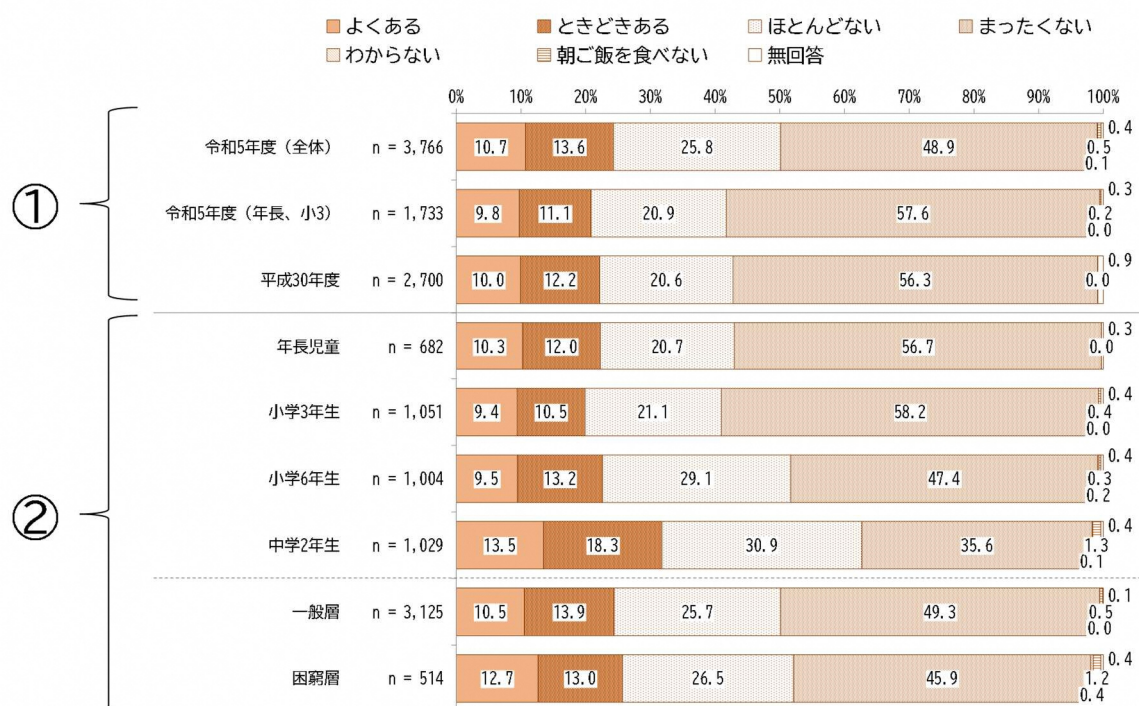
区分	配付数	回収数	有効回収数	有効回収率
年長児童	1,306人	682人	682人	52.2%
小学校3年生	1,432人	1,051人	1,051人	73.4%
小学校6年生	1,524人	1,004人	1,004人	65.9%
中学校2年生	1,586人	1,029人	1,029人	64.9%
合計	5,848人	3,766人	3,766人	64.4%

4. 集計結果の見方

- ・ 図表中の「n」は各質問の回答数を示している。
- ・ 比率は百分率（%）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。したがって、合計が100.0%にならない場合もある。
- ・ 複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%とならない。
- ・ 掲載した質問文、選択肢は簡略化してある場合がある。
- ・ 比較できる質問は平成30年度調査（有効回収数:5,616人）の結果と比較をしている。
- ・ 本報告書では「両親が同居する世帯」を「ふたり親世帯」としている。

- ・ 図表の見方を下に示す。

図表 Ⅰ 図表の見方(イメージ)



	調査数	自分の家	友だちの家	祖父母宅、親戚の家	塾や習い事	放課後児童クラブ	こどもセンター	公園	公民館 児童館、こども家	その他	無回答
① 令和5年度(全体)	3,766	89.7	14.4	9.8	15.4	9.5	0.2	9.4	5.7	2.0	0.2
令和5年度(年長、小3)	1,733	83.6	13.7	13.3	12.5	18.4	0.4	13.6	6.8	1.6	0.2
平成30年度	2,700	82.4	15.1	15.2	13.9	11.2	0.8	14.6	6.3	1.7	0.8
② 年長児童	682	95.5	0.9	14.4	5.4	-	0.9	8.9	0.9	1.3	0.2
小学3年生	1,051	75.9	22.0	12.7	17.1	30.4	0.1	16.6	10.6	1.7	0.2
小学6年生	1,004	93.5	24.8	8.5	18.9	3.3	0.2	11.6	9.2	2.2	0.3
中学2年生	1,029	96.3	5.4	5.1	16.8	0.4	0.0	0.4	0.4	2.7	0.2
一般層	3,125	89.8	14.3	10.3	16.1	9.8	0.2	9.2	5.5	2.1	0.0
困窮層	514	91.6	15.0	7.4	9.9	7.8	0.4	10.3	6.2	1.4	0.0

①最上段に本調査の全体の集計結果を示した。平成30年度調査結果との比較ができる場合は、その結果も示した。また、平成30年度調査で対象が絞られている場合は、同様の対象に絞った本調査結果も示した。

②2段目、3段目には本調査での属性別の結果を示した。集計した属性は、設問によって、「学年」「世帯類型」「一般層/困窮層」のいずれかとした。

II. 調査結果

1 一般層と困窮層の区分設定

国が公表している「令和4年国民生活基礎調査」における「相対的貧困層の算出方法（考え方）」及び「1世帯当たり平均所得金額」を参考とし、世帯人数ごとの「貧困線相当年収額」の基準を定めた。

問30（令和4年中の世帯全員の収入の合計額）の回答から、この基準を上回る世帯を「一般層」、下回る世帯を「困窮層」と位置付けた。

図表2 所得五分位階級ごとの係数

（金額単位：万円）

所得区分（万円）	1世帯当たり 平均所得金額 (a)	平均可処分 所得金額 (b)	係数 (c)
第Ⅰ（～200）	122.9	109.3	1.12
第Ⅱ（～328）	267.3	229.9	1.16
第Ⅲ（～526）	426.8	350.3	1.22
第Ⅳ（～816）	660.1	528.6	1.25
第Ⅴ（816～）	1251.6	945.7	1.32

・(c)=(a)/(b)

・(a)及び(b)は「令和4年国民生活基礎調査」より引用

図表3 世帯人数ごとの困窮層区分

（金額単位：万円）

世帯人員数 (※1)	貧困線 (d)	係数(※2) (c)	対応する世帯 収入(e)	困窮層該当年収 (※3)
2人世帯	179.6	1.12	202.0	～200万円未満
3人世帯	220.0	1.16	255.8	～250万円未満
4人世帯	254.0	1.16	295.3	～300万円未満
5人世帯	284.0	1.16	330.2	～350万円未満
6人世帯	311.1	1.22	379.0	～400万円未満
7人世帯	336.0	1.22	409.4	
8人世帯	359.2	1.22	437.7	
9人世帯	381.0	1.22	464.2	
10人以上世帯	401.6	1.22	489.3	～550万円未満

・(e)=(d)*(c)

・(d)は「令和4年国民生活基礎調査」より引用

※1 世帯人員数は、問 2（お子さんと現在同居している人、同居しているきょうだいの人数）から算出した。

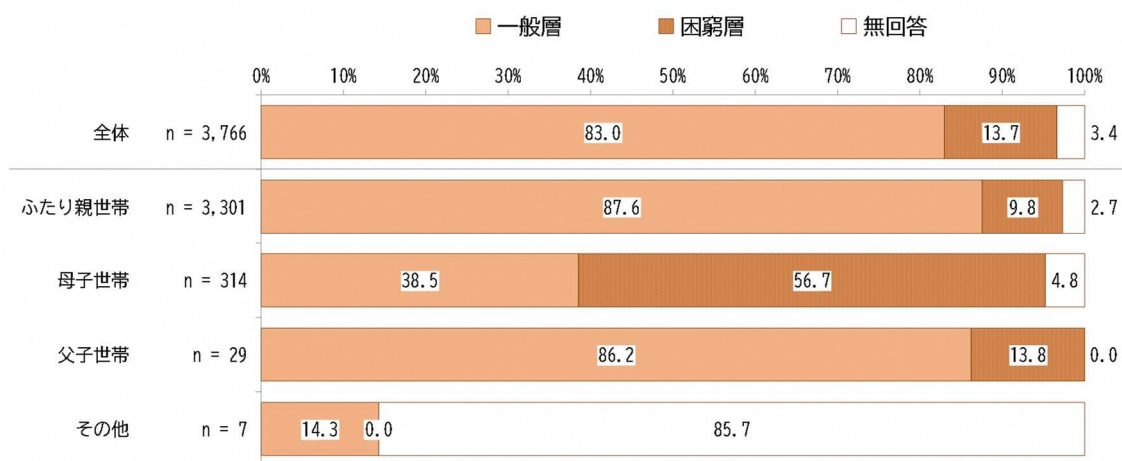
※2 「貧困線(d)の金額」が「平均可処分所得金額(b)」のいずれか最も近い金額に属する「係数(c)」を採用した。

※3 アンケート（問 30（令和 4 年の世帯年収））と同様に 50 万円単位に区分し、「対応する世帯収入(e)の金額」が最も近い区分をもって、世帯人数に応じた困窮層該当年収を定めた。

上記から一般層と困窮層を区分した結果を下図に示す。

・「一般層」は 83.0%、「困窮層」は 13.7%である。「無回答」は 3.4%である（※）

図表 4 一般層と困窮層



※ここでは、問 2（お子さんと現在同居している人、同居しているきょうだいの人数）から世帯人員数が推定できない場合、もしくは問 30（令和 4 年の世帯年収）に回答していない場合を無回答とした。

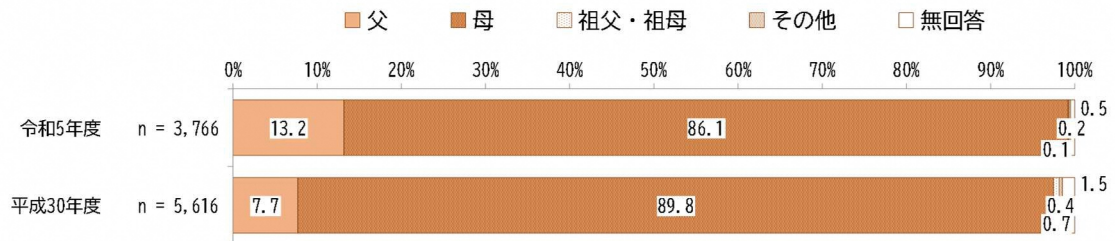
2 回答者、世帯について

(1) 回答者の続柄

問1 このアンケートにお答えになっている方は、お子さんから見てどなたですか。

・「母」が86.1%で最多、「父」が13.2%で続く

図表 5 回答者の続柄



(2) 世帯類型

問20 あなたの世帯は、「ひとり親世帯」に該当しますか。

・ひとり親世帯に「該当しない」が90.5%、「該当する」が9.1%である

図表 6 世帯類型①

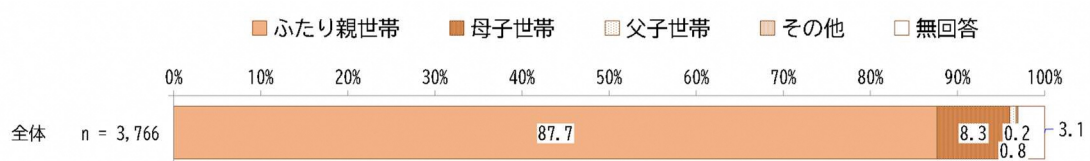


※平成30年度調査では「死別」「離婚」「未婚」「別居」「その他」に分かれているため、令和5年度調査の選択肢にあわせて合算している。

問2 お子さんと現在同居している人をお答えください。

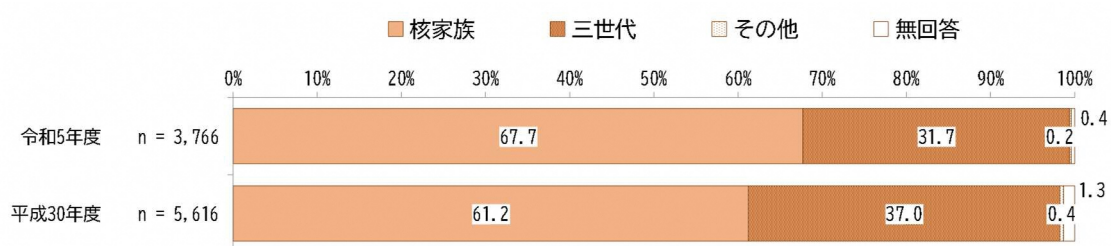
・「ふたり親世帯」が87.7%で、「母子世帯」が8.3%、「父子世帯」が0.8%である

図表 7 世帯類型②



- ・「核家族」が67.7%で最多、「三世代家族」が31.7%と続く

図表 8 世帯類型③



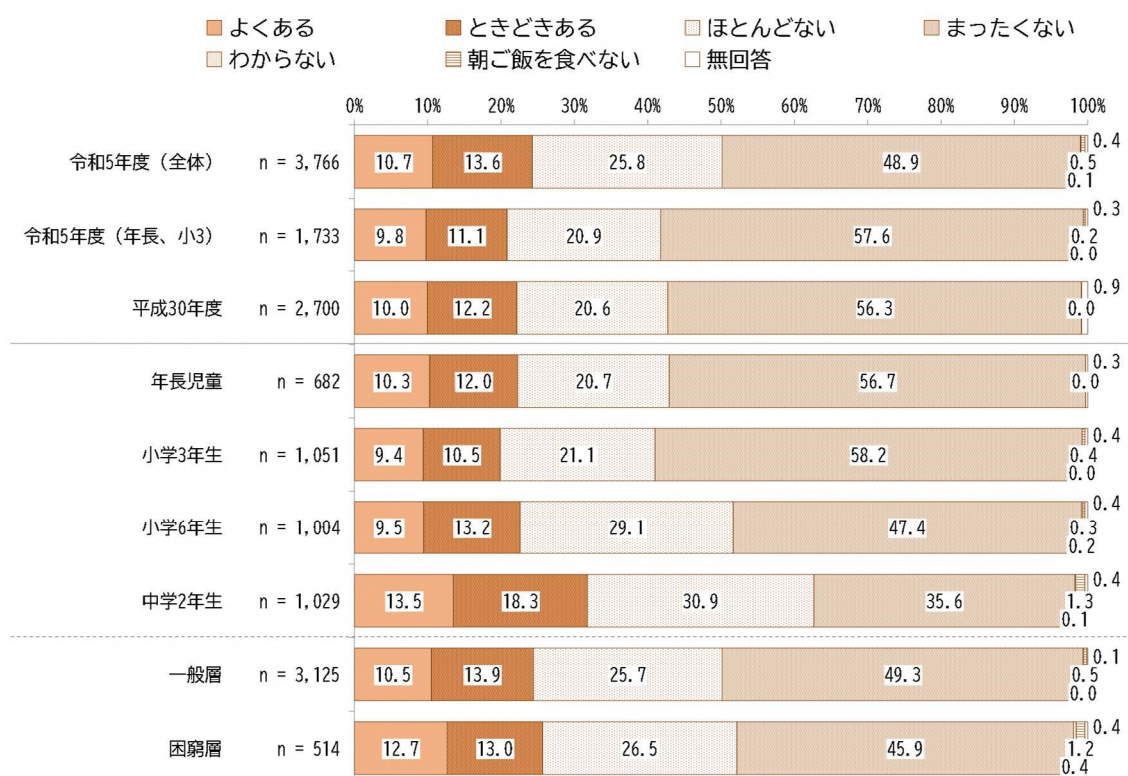
3 お子さんの生活について

(1) 子どもだけで朝食を食べる頻度

問3 お子さんは1人（または子どもだけ）で朝ご飯を食べることがありますか。

- ・「まったくない」が48.9%で最多、「ほとんどない」が25.8%と続く

図表 9 1人（または子どもだけ）で朝ご飯を食べることがあるか



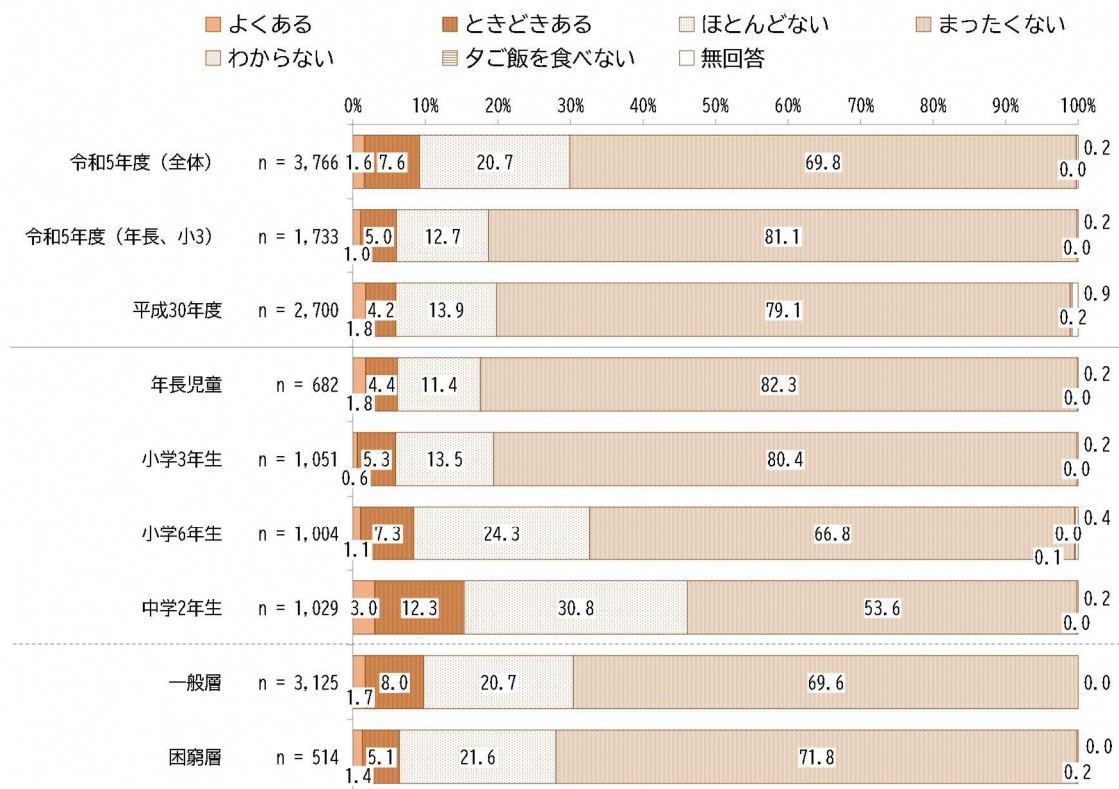
※平成30年度調査では年長児童、小学3年生の保護者のみに確認している。

(2) 子どもだけで夕食を食べる頻度

問4 お子さんは1人（または子どもだけ）で夕ご飯を食べることがありますか。

・「まったくない」が69.8%で最多、「ほとんどない」が20.7%と続く

図表 10 お子さんは1人（または子どもだけ）で夕ご飯を食べることがあるか



※平成30年度調査では年長児童、小学3年生の保護者のみに確認している。

(3) 降園後、放課後に過ごす場所

問5 お子さんは、降園後・放課後にどこで過ごすことが多いですか。(複数回答)

・「自分の家」が89.7%で最多、「塾や習い事」が15.4%と続く

図表 11 降園後・放課後過ごす場所

	調査数	自分の家	友だちの家	祖父母宅、親戚の家	塾や習い事	放課後児童クラブ	こどもセンター	公園	公民館、児童館、こどもの家	その他	無回答
令和5年度(全体)	3,766	89.7	14.4	9.8	15.4	9.5	0.2	9.4	5.7	2.0	0.2
令和5年度(年長、小3)	1,733	83.6	13.7	13.3	12.5	18.4	0.4	13.6	6.8	1.6	0.2
平成30年度	2,700	82.4	15.1	15.2	13.9	11.2	0.8	14.6	6.3	1.7	0.8
年長児童	682	95.5	0.9	14.4	5.4	-	0.9	8.9	0.9	1.3	0.2
小学3年生	1,051	75.9	22.0	12.7	17.1	30.4	0.1	16.6	10.6	1.7	0.2
小学6年生	1,004	93.5	24.8	8.5	18.9	3.3	0.2	11.6	9.2	2.2	0.3
中学2年生	1,029	96.3	5.4	5.1	16.8	0.4	0.0	0.4	0.4	2.7	0.2
一般層	3,125	89.8	14.3	10.3	16.1	9.8	0.2	9.2	5.5	2.1	0.0
困窮層	514	91.6	15.0	7.4	9.9	7.8	0.4	10.3	6.2	1.4	0.0

※平成30年度調査では年長児童、小学3年生の保護者のみに確認している。

図表 12 降園後・放課後過ごす場所 その他内容(抜粋)

項目	件数
学校やグラウンド	18
放課後等デイサービス	16
部活動、スポーツクラブ	12
公共施設(図書館、駅等)	7

(4) 長期休暇の日中に過ごす場所

問6 お子さんは、長期休暇（夏休みや春休みなど）の日中、どこで過ごすことが多いですか。
（複数回答）

・「自分の家」が87.7%で最多、「祖父母宅、親戚の家」が28.3%と続く

図表 13 長期休暇（夏休みや春休みなど）の日中、過ごす場所

	調査数	自分の家	友だちの家	祖父母宅、親戚の家	塾や習い事	放課後児童クラブ	こどもセンター	公園	公民館、児童館、こどもの家	その他	無回答
令和5年度（全体）	3,766	87.7	9.6	28.3	9.5	10.7	0.9	8.4	3.6	4.5	0.3
令和5年度（小3、小6、中2）	3,084	88.0	11.2	26.1	10.9	13.1	0.2	6.8	4.2	2.6	0.3
平成30年度	4,319	83.7	10.1	24.5	8.2	23.6	0.1	4.9	3.6	1.7	1.1
年長児童	682	86.4	2.2	38.3	2.9	-	4.1	15.8	1.3	13.5	0.3
小学3年生	1,051	74.7	9.3	34.8	9.2	34.3	0.4	10.1	4.8	1.8	0.3
小学6年生	1,004	92.4	15.8	28.0	10.9	3.9	0.3	8.5	6.9	2.0	0.3
中学2年生	1,029	97.2	8.6	15.5	12.6	0.4	0.0	1.8	0.9	3.9	0.3
一般層	3,125	87.4	9.3	29.0	9.7	11.1	0.9	8.2	3.7	4.9	0.1
困窮層	514	90.7	10.1	24.3	6.8	9.3	1.0	9.3	3.1	2.1	0.0

※平成30年度調査では、小学3、6年生、中学2年生の保護者のみに確認している。

年長児童の保護者向け票には「放課後児童クラブ」の選択肢はない。

図表 14 長期休暇（夏休みや春休みなど）の日中、過ごす場所 その他内容（抜粋）

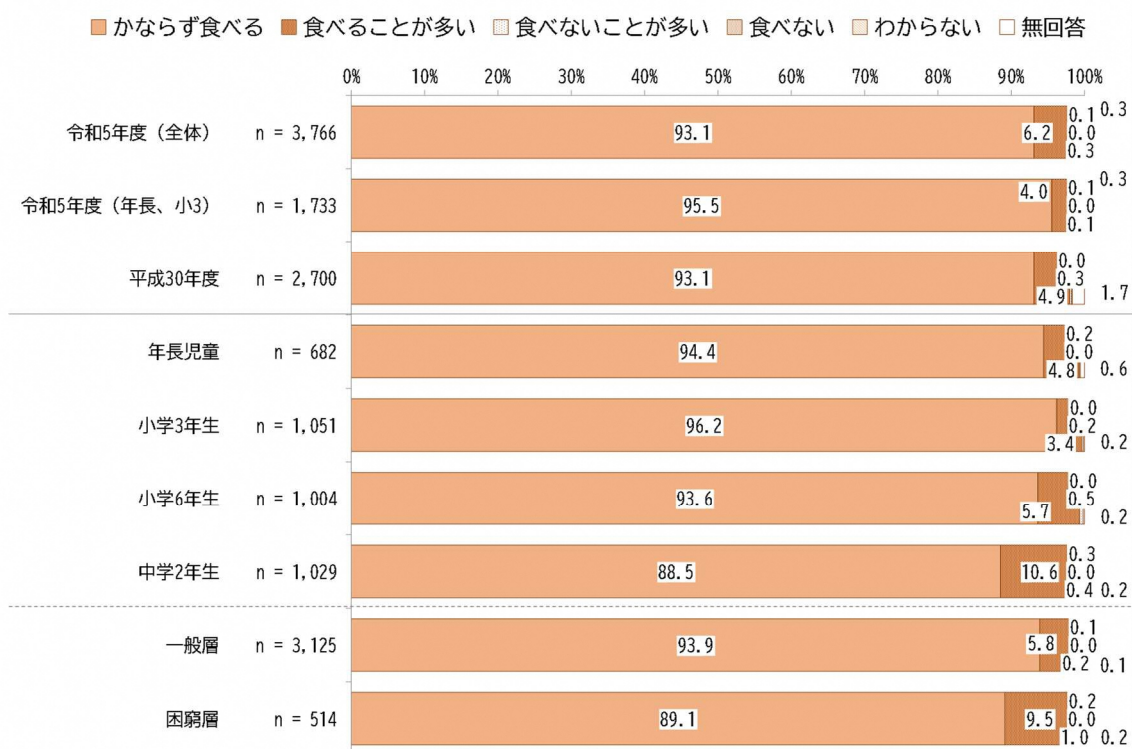
項目	件数
幼稚園、保育園、こども園（預かり保育）	63
部活動、スポーツクラブ	21
放課後等デイサービス	16
公共施設（図書館等）	7
学校やグラウンド	5

(5) 長期休暇中、昼ご飯をとるか

問7 お子さんは、休日や長期休暇（夏休みや春休みなど）の際、昼ご飯を食べていますか。

・「かならず食べる」が93.1%で最多、「食べることが多い」が6.2%と続く

図表 15 休日や長期休暇（夏休みや春休みなど）の際、昼ご飯を食べているか



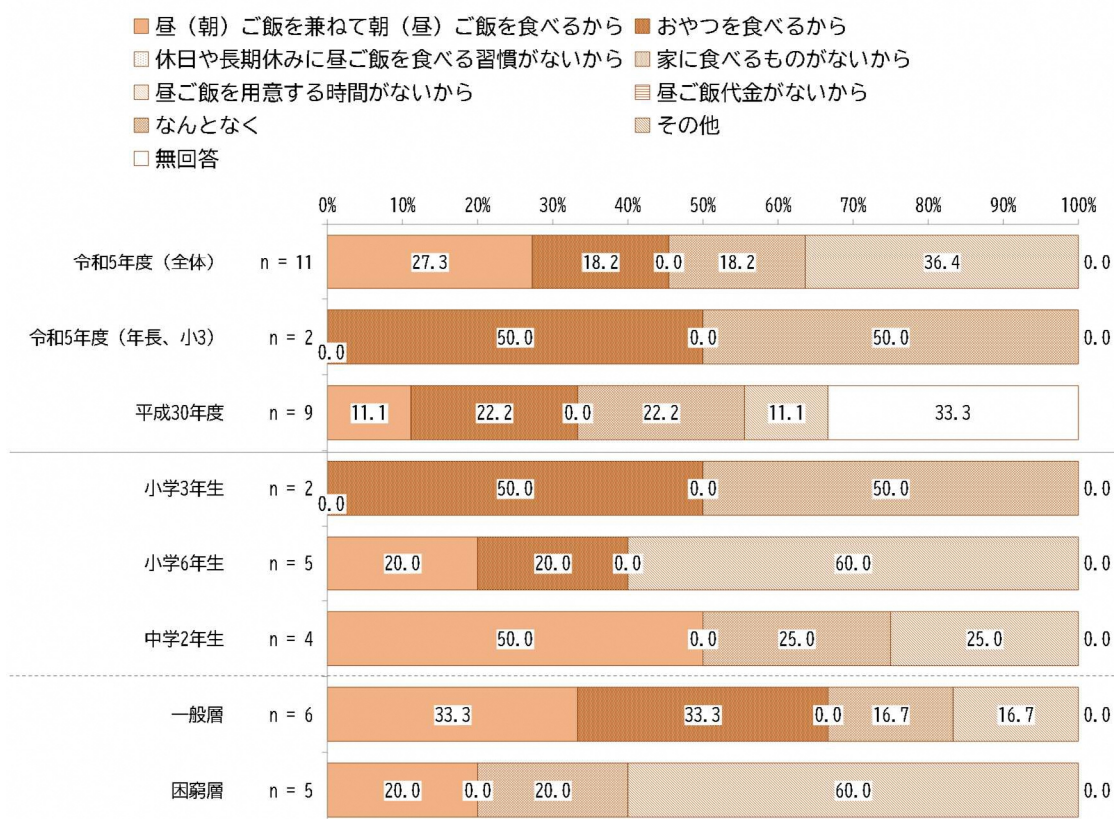
※平成30年度調査では年長児童、小学3年生の保護者のみに確認している。

(6) 長期休暇中、昼ご飯食べないことが多い、食べない理由

問 7-1 食べないことが多い、食べないのはなぜですか。(食べないことが多い、食べない人のみ)

・「昼（朝）ご飯を兼ねて朝（昼）ご飯を食べるから」が 27.3%で最多である

図表 16 長期休暇中、昼ご飯食べないことが多い、食べない理由



※平成 30 年度調査では年長児童、小学 3 年生の保護者のみに確認している。

年長児童の回答はなかったため、グラフには表示していない。

図表 17 長期休暇中、昼ご飯食べないことが多い、食べない理由 その他内容(抜粋)

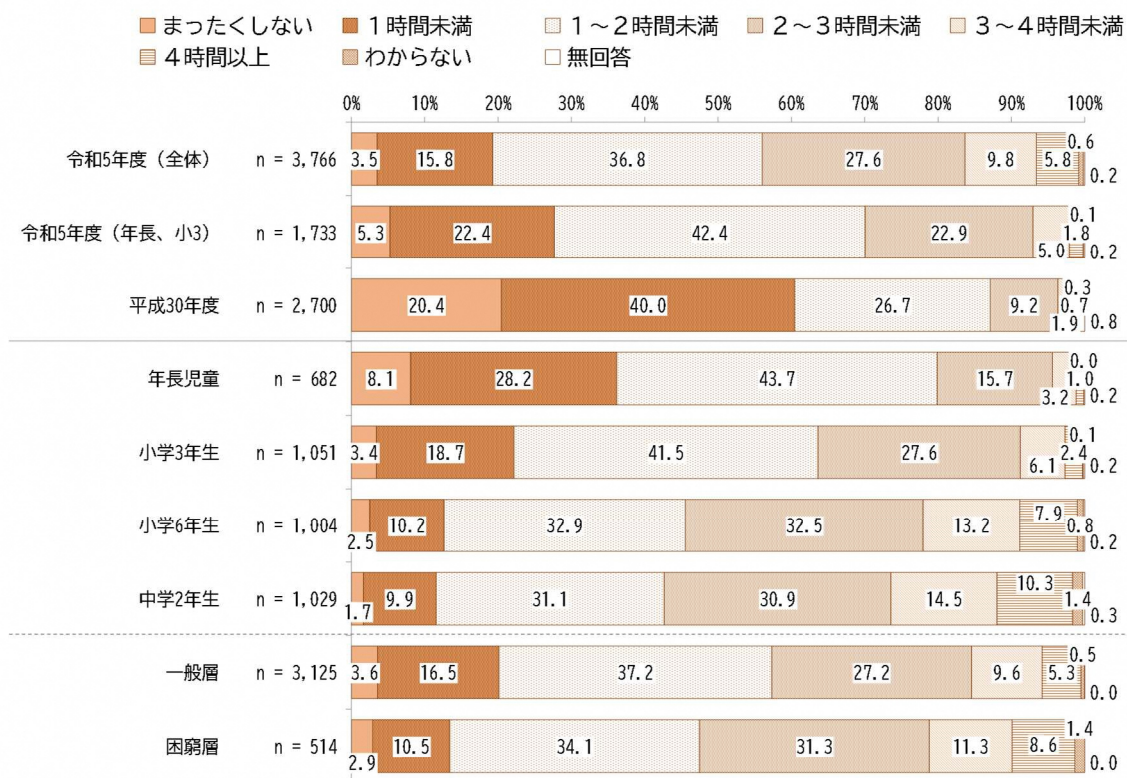
項目	件数
食事を用意しても、おやつを食べて過ごす	1
食べたり食べなかったり	1
動かないのでお腹が空かない	1

(7) 平日、ゲーム機で遊んだり動画を見たりする時間

問8 お子さんが平日に家でゲーム機で遊んだり動画を見たりする時間は、平均どれくらいですか。

・「1～2 時間未満」が 36.8%で最多、「2～3 時間未満」が 27.6%と続く

図表 18 平日に家でゲーム機で遊んだり動画を見たりする平均時間



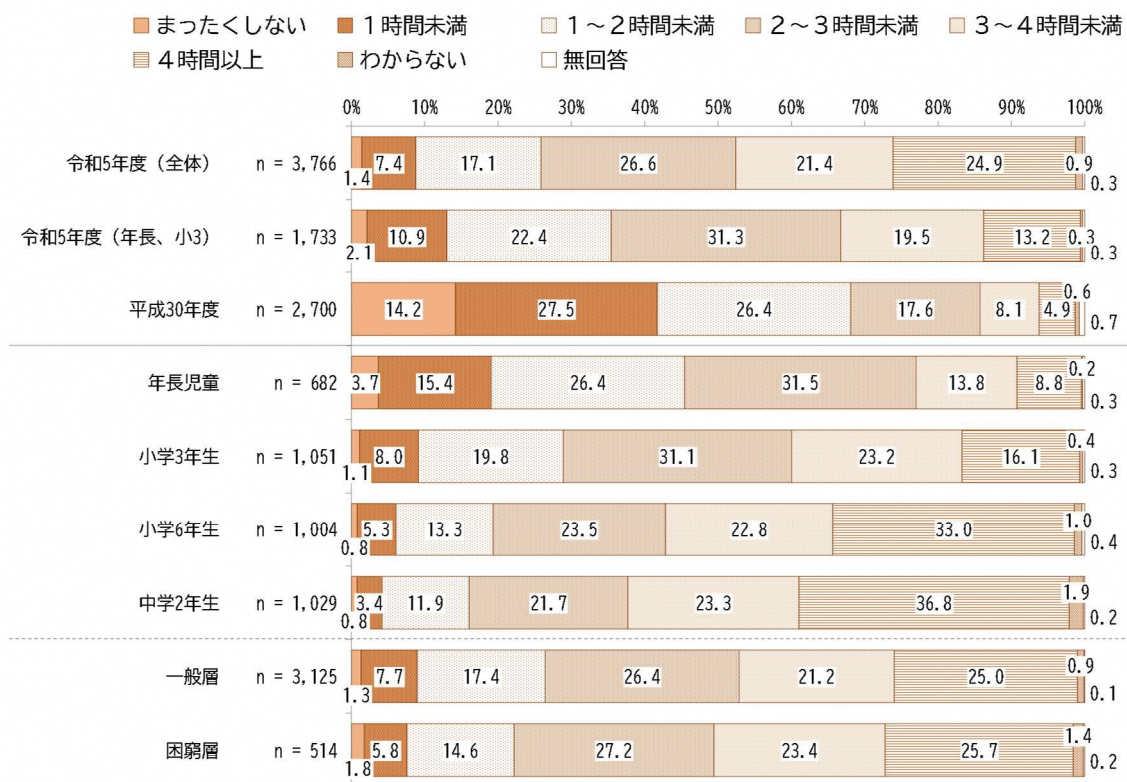
※平成30年度調査では年長児童、小学3年生の保護者のみに確認している。

(8) 休日、ゲーム機で遊んだり動画を見たりする時間

問9 お子さんが休日に家でゲーム機で遊んだり動画を見たりする時間は、平均どれくらいですか。

・「2～3 時間未満」が 26.6%で最多、「4 時間以上」が 24.9%と続く

図表 19 休日に家でゲーム機で遊んだり動画を見たりする平均時間



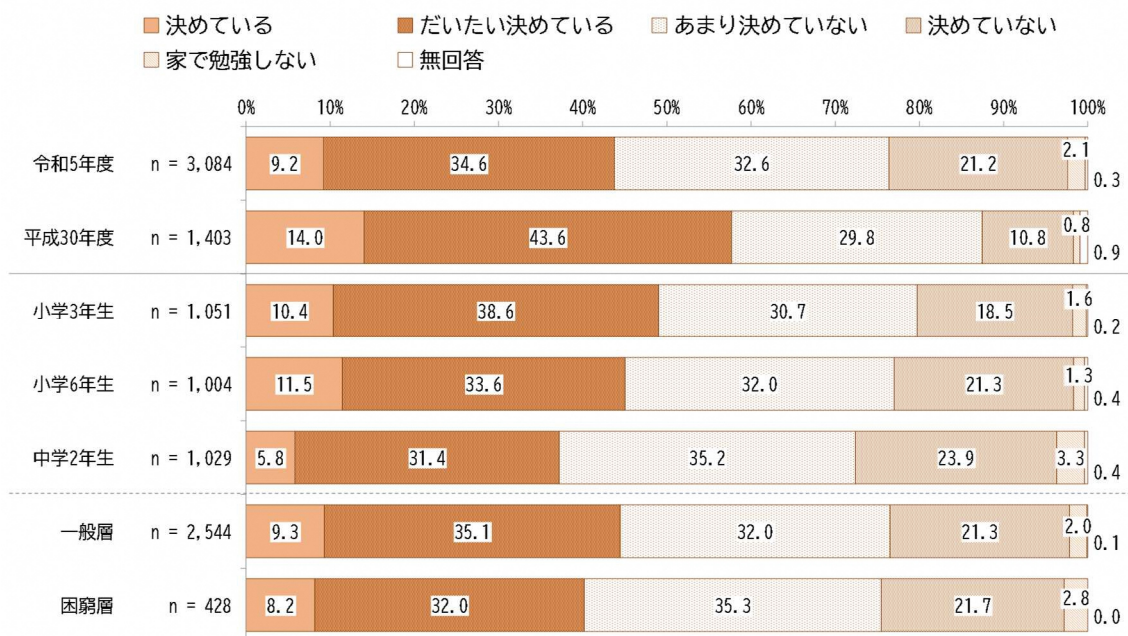
※平成 30 年度調査では年長児童、小学 3 年生の保護者のみに確認している。

(9) 家での学習時間

問 10 お子さんは、家での学習時間を決めていますか。

・「だいたい決めている」が 34.6%で最多、「あまり決めていない」が 32.6%と続く

図表 20 家での学習時間を決めているか



※本設問は、小学3、6年生、中学2年生の保護者のみに確認している。

(10) お子さんの体験

問11 これまでに以下のようなことを、お子さんが体験したことはありますか。

- ・「ショッピングモールやデパートに行く」が98.7%、「美術館、スポーツ観戦、旅行などの文化的体験」が86.0%、「映画館に行く」が84.0%である

図表 21 お子さんの体験

	調査数	ショッピングモールやデパートに行く	映画館に行く	キャンプ、海水浴、ウインタースポーツなどの自然体験	美術館、スポーツ観戦、旅行などの文化的体験	地域活動、ボランティアなどの社会体験	特にしていない	無回答
令和5年度	3,766	98.7	84.0	83.2	86.0	60.9	0.4	0.2
ふたり親世帯	3,301	98.9	84.1	84.0	87.2	61.6	0.5	0.1
母子世帯	314	98.7	87.3	76.1	78.7	53.2	0.0	0.0
父子世帯	29	96.6	62.1	82.8	62.1	62.1	0.0	0.0
その他	7	100.0	100.0	71.4	85.7	42.9	0.0	0.0
一般層	3,125	99.1	84.7	84.2	88.1	62.5	0.4	0.0
困窮層	514	98.1	81.1	79.4	76.3	52.9	1.0	0.0

■…全体より10ポイント以上低い項目

(その他の世帯については調査数が少ないため色付けの対象外とした)

(11) お子さんのことで悩んでいること

問 12 お子さんのことで現在悩んでいることはありますか。(複数回答)

- ・「子どもの進学や受験のことが心配である」が 35.1%で最多、「子どもの教育費のことが心配である」が 30.2%と続く
- ・「特に悩みはない」は 24.8%である

図表 22 現在悩んでいること

	調査数	子どもに対 するしつけ や教育に自 信が持てな い	子どもに 対するし つけや教 育につ いて、相 談する 相手がい ない	配偶者 が子育て にあまり 協力して くれない	子ども の進学 や受験の ことが心 配である	子ども の就職の ことが心 配である	子ども が反抗的 で、なか なかい うこと を聞か ない	子ども の心身の 発育や病 気が心配 である	子ども の非行や 問題行動 が心配であ る	子ども の教育費 のことが心 配である	子ども と接する 時間を十 分に取る ことが できてい ない	特に 悩みは ない	その他	無 回 答
令和5年度	3,766	21.5	3.4	5.9	35.1	12.9	10.9	15.5	3.1	30.2	17.8	24.8	4.3	1.0
平成30年度	5,616	28.9	4.1	8.4	31.8	15.5	13.5	11.9	3.9	28.5	22.4	19.1	3.0	2.4
ふたり親世帯	3,301	21.3	3.1	6.2	34.1	12.4	10.6	15.5	2.8	28.9	16.9	25.8	4.3	0.9
母子世帯	314	23.6	4.8	-	42.0	15.3	14.7	15.6	5.7	45.9	24.8	16.9	5.1	0.3
父子世帯	29	27.6	10.3	-	58.6	31.0	6.9	10.3	3.5	34.5	20.7	17.2	0.0	0.0
その他	7	14.3	0.0	-	42.9	14.3	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0
一般層	3,125	21.5	3.1	5.9	34.4	12.7	10.7	15.4	2.9	28.7	18.6	25.6	4.3	0.8
困窮層	514	22.4	5.1	6.2	37.2	13.4	12.7	15.4	4.3	38.9	14.8	21.2	4.9	0.2

■…全体より 10 ポイント以上高い項目（その他の世帯については調査数が少ないため色付けの対象外とした）

※平成 30 年度調査では上記の選択肢に加えて「配偶者と子育てのことで意見が合わない」「子どもに基本的な生活習慣（あいさつなど）が身につけていない」「子どもが勉強をしない」「子どもが何事に対しても消極的である」「子どもがよい友人関係を持ってない」「子どもに十分な食事や栄養を与えることができない」が設定されていた。

図表 23 現在悩んでいること その他内容(抜粋)

項目	件数
メディア、ゲームに依存している	28
子ども同士の友人関係	15
不登校、登校渋りがある	14

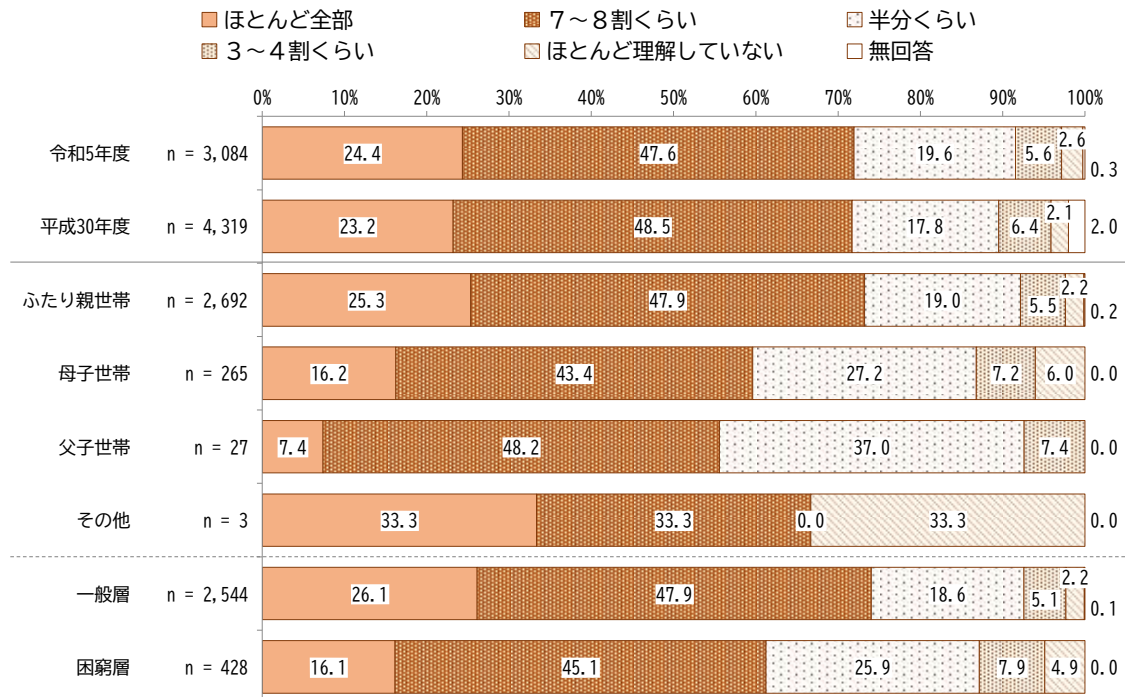
4 お子さんの学校・教育について

(1) お子さんの学校の授業の理解度

問 13 お子さんは、学校の授業をどのくらい理解していますか。

・「7～8割くらい」が47.6%で最多、「ほとんど全部」が24.4%と続く

図表 24 学校の授業の理解度



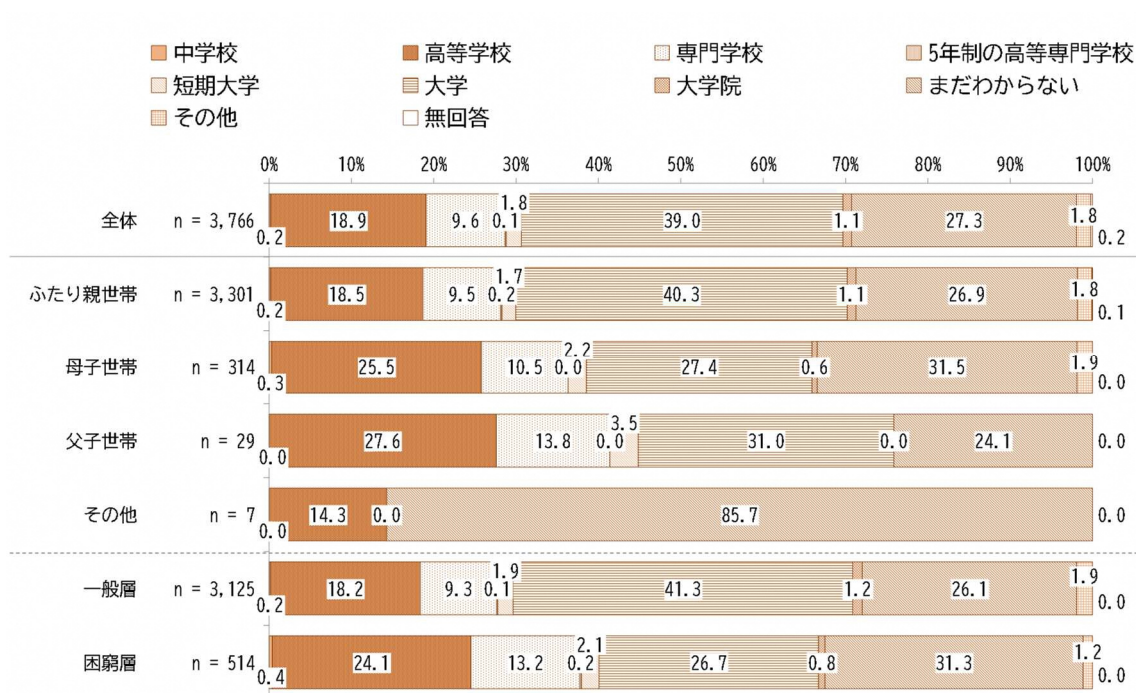
※本設問は、小学3、6年生、中学2年生の保護者のみに確認している。

(2) 希望するお子さんの最終学歴

問 14 お子さんに、将来どの学校までの進学を希望しますか。

・「大学」が 39.0%で最多、「まだわからない」が 27.3%、「高等学校」が 18.9%と続く

図表 25 希望する将来の進学先



図表 26 希望する将来の進学先 その他内容(抜粋)

項目	件数
本人の希望を尊重する	51

5 あなたについて

(1) お子さんの教育費で負担に感じるもの

問 15 お子さんの教育費で負担に感じるものは何ですか。(複数回答)

- ・「学習塾や習い事など園・学校以外の教育費」が 48.9%で最多、「制服・靴・鞆などの身の回りのもの」が 44.3%と続く
- ・「特に負担は感じない」は 22.7%である

図表 27 教育費で負担に感じるもの

	調査数	給食費・学級費・教材費	制服・靴などの身の回りのもの	部活・クラブ活動などの費用	修学旅行などの積み立て	学習塾や習い事など園・学校以外の教育費	その他	特に負担は感じない	無回答
令和5年度	3,766	27.5	44.3	17.6	8.3	48.9	2.0	22.7	0.7
平成30年度	5,616	16.4	28.5	11.8	8.8	40.2	1.4	20.4	9.2
ふたり親世帯	3,301	26.8	43.4	16.8	8.1	49.1	2.0	23.5	0.5
母子世帯	314	35.0	59.2	28.7	14.0	46.8	2.9	14.7	0.3
父子世帯	29	41.4	44.8	10.3	0.0	44.8	0.0	20.7	0.0
その他	7	28.6	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	28.6	28.6
一般層	3,125	25.0	41.3	15.9	7.0	49.6	24.2	2.1	0.4
困窮層	514	41.8	63.6	28.8	16.2	44.9	13.6	1.8	0.2

…全体より 10 ポイント以上高い項目

(その他の世帯については調査数が少ないため色付けの対象外とした)

図表 28 教育費で負担に感じるもの その他内容(抜粋)

項目	件数
今後の進学にかかる費用	39
児童クラブの利用料	8
習い事費用	5
全体的に負担	4

(2) お子さんの世話を頼める人の有無

問 16 あなたの体調が悪いときに、身の回りにお子さんの世話を頼める人はいますか。
(複数回答)

・「同居の家族」が 75.6%で最多、「同居以外の家族・親戚」が 56.4%と続く

図表 29 体調が悪いときに、身の回りにお子さんの世話を頼める人

	調査数	同居の家族	同居以外の家族・親戚	職場の人	近所の人	友人・知人	地域の相談機関	その他	頼める人はいない	無回答
令和5年度	3,766	75.6	56.4	0.2	1.7	3.3	0.5	0.5	4.7	0.2
平成30年度	5,616	72.6	52.8	0.7	1.9	4.2	0.6	0.6	4.6	1.2
ふたり親世帯	3,301	80.3	57.6	0.2	1.7	3.1	0.5	0.4	3.5	0.1
母子世帯	314	39.5	50.3	0.6	1.3	6.1	0.3	1.0	13.4	0.0
父子世帯	29	65.5	44.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	0.0
その他	7	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0	14.3
一般層	3,125	77.4	58.5	0.2	1.4	3.0	0.4	0.4	4.0	0.0
困窮層	514	67.5	44.9	0.0	2.3	5.1	1.0	0.4	8.6	0.0

■…全体より 5 ポイント以上高い項目

(その他の世帯については調査数が少ないため色付けの対象外とした)

図表 30 体調が悪いときに、身の回りにお子さんの世話を頼める人 その他(抜粋)

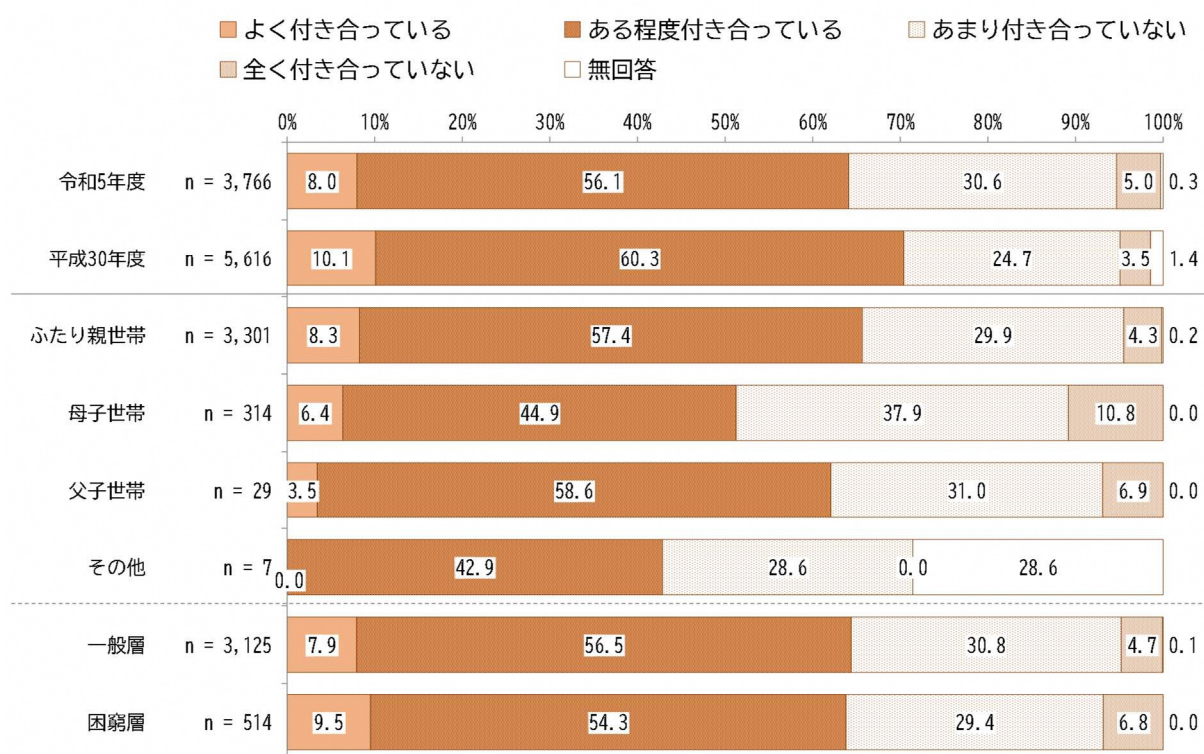
項目	件数
病児保育	7
施設職員	4
ヘルパー	2

(3) 地域での付き合い

問 17 あなたは、地域での付き合いをどの程度していますか。

- ・「よく付き合っている」「ある程度付き合っている」を合わせると 64.1%で、「あまり付き合っていない」「全く付き合っていない」を合わせると 35.6%である

図表 31 地域での付き合いの程度



(4) 困ったときの相談先

問 18 あなたは、困ったとき誰に相談しますか。(複数回答)

・「配偶者」が 79.3%で最多、「親・親族」が 72.6%で続く

図表 32 困ったときの相談先

	調査数	配偶者	親・親族	子ども	友人・知人	隣人・地域の人	幼稚園・保育園の先生	学校の先生	カウンセラーなどの専門家	民生委員・児童委員	役所など公的機関	同じ立場の人	相談する人はいない	その他	困っていることはない	無回答
令和5年度	3,766	79.3	72.6	22.5	54.6	4.0	6.2	13.8	2.9	0.3	1.9	7.7	1.7	2.2	0.4	0.3
平成30年度	5,616	64.8	31.4	4.6	22.9	1.2	2.1	3.2	0.8	0.1	0.9	2.5	0.6	2.0	0.0	7.4
ふたり親世帯	3,301	88.0	72.9	22.2	54.2	4.1	6.5	14.1	2.9	0.3	1.7	7.5	1.2	2.0	0.4	0.1
母子世帯	314	-	73.9	23.6	60.8	2.2	4.8	9.9	2.6	0.3	4.5	10.2	5.7	2.2	1.0	0.3
父子世帯	29	-	72.4	17.2	44.8	0.0	3.5	13.8	3.5	0.0	3.5	13.8	17.2	0.0	0.0	3.5
その他	7	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	42.9	0.0	28.6
一般層	3,125	84.2	73.2	23.1	54.8	4.0	6.2	13.7	2.9	0.2	1.6	8.0	1.1	2.3	0.4	0.1
困窮層	514	52.3	70.4	18.9	53.1	3.5	7.0	14.6	2.5	0.8	4.1	5.5	5.6	1.4	0.6	0.0

■…全体より 10 ポイント以上高い項目、■…全体より 10 ポイント以上低い項目

(その他の世帯については調査数が少ないため色付けの対象外とした)

図表 33 困ったときの相談先 その他内容(抜粋)

項目	件数
職場の人	59
こども発達支援センター、障害者支援室、放課後デイサービスの先生	4
子育て電話相談サービスや相談チャット	3
医療機関、主治医	2
ヘルパー	2

(5) 子育てに関する情報の入手方法

問 19 あなたの世帯では、子育てに関する情報をどのような方法で入手していますか。

- ・「園、学校などからの便り」が 63.8%で最多、「友人や知人」が 48.1%で続く

図表 34 子育てに関する情報の入手方法

	調査数	上越市子育て応援ステーション	じょうえつ子育てinfo(冊子)	上越市母子手帳アプリ「母子モ」	広報上越、市のホームページ、市の公式LINE	X(旧Twitter)	Instagram	Facebook	その他のインターネット	園、学校などからの便り	テレビ、新聞、書籍、雑誌	家族や親戚	友人や知人	入手方法がわからない	特に情報収集はしていない	その他	無回答
全体	3,766	3.7	2.8	1.1	23.1	6.3	20.1	3.3	28.4	63.8	34.6	30.2	48.1	0.9	9.6	0.5	0.4
ふたり親世帯	3,301	3.7	2.9	1.2	23.6	6.5	20.4	3.5	28.9	65.4	36.1	31.2	48.8	0.8	9.0	0.5	0.2
母子世帯	314	4.8	2.2	0.0	17.8	5.7	19.1	1.9	22.3	50.6	26.4	24.2	46.8	2.6	14.0	0.6	0.3
父子世帯	29	6.9	0.0	0.0	13.8	3.5	3.5	6.9	24.1	41.4	6.9	20.7	27.6	0.0	27.6	0.0	0.0
その他	7	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0	14.3	57.1	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	28.6
一般層	3,125	3.7	2.8	1.0	23.8	6.1	20.0	3.3	29.8	64.9	35.7	30.9	49.1	0.7	9.2	0.5	0.1
困窮層	514	4.7	3.1	2.0	19.5	8.2	21.8	3.1	21.6	58.8	28.2	25.5	43.0	2.0	11.1	0.4	0.2

■…全体より 10 ポイント以上高い項目、■…全体より 10 ポイント以上低い項目

(その他の世帯については調査数が少ないため色付けの対象外とした)

図表 35 子育てに関する情報の入手方法 その他内容(抜粋)

項目	件数
職場	4
こどもセンター、こどもセンターや公共施設にあるパンフレット	4
こども発達支援センター、施設	3

選択肢が異なるため直接比較はできないが、参考として平成 30 年度調査結果を示す。

図表 36 参考：子育てに関する情報の入手方法（平成 30 年度調査結果）

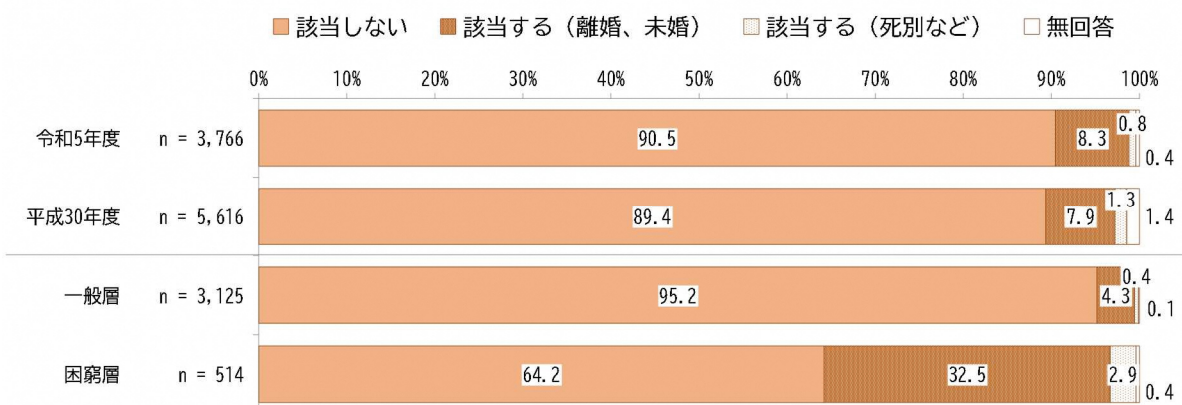
	調査数	新聞	テレビ・ラジオ	インターネット	アプリ	市の広報誌	園、学校などからの便り	公共機関にあるチラシ	友人・知人	家族	書籍・雑誌	その他	入手方法がわからない	特に情報収集していない	無回答
平成30年度	5,616	20.9	41.7	53.8	7.1	33.3	65.6	13.4	54.4	26.6	18.4	0.4	0.6	7.3	3.0

(6) ひとり親世帯

問 20 あなたの世帯は、「ひとり親世帯」に該当しますか。

- ・ひとり親世帯に「該当しない」が90.5%、「該当する（離婚、未婚、死別などの合計）」が9.1%

図表 37 ひとり親世帯に該当するか



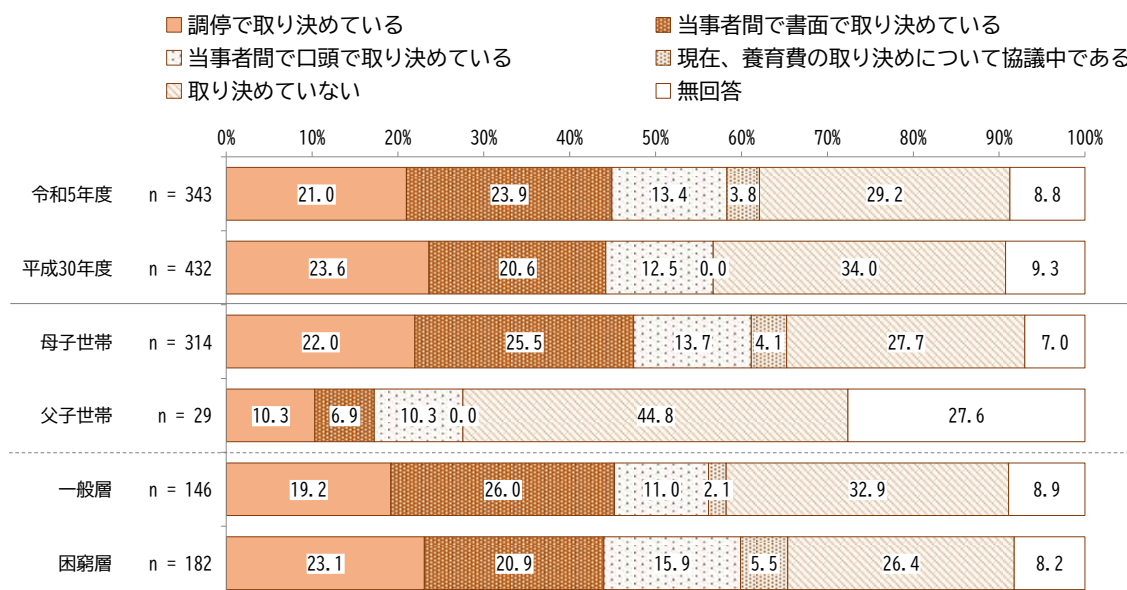
※平成30年度調査では「死別」「離婚」「未婚」「別居」「その他」に分かれているため、令和5年度調査の選択肢にあわせて合算している。

(7) 養育費の取り決めの有無（ひとり親世帯のみ）

問 20-1 あなたは養育費について取り決めていますか

- ・「取り決めていない」が29.2%で最多、「当事者間で書面で取り決めている」が23.9%と続く

図表 38 養育費についての取り決めの有無

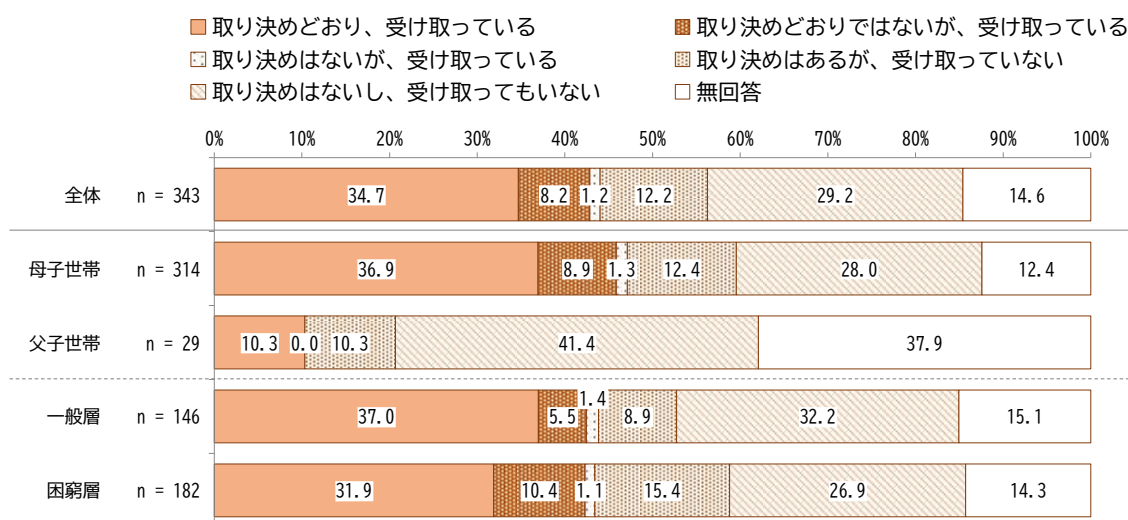


(8) 養育費の受け取り経験（ひとり親世帯のみ）

問 20-2 あなたは養育費を受け取ったことがありますか

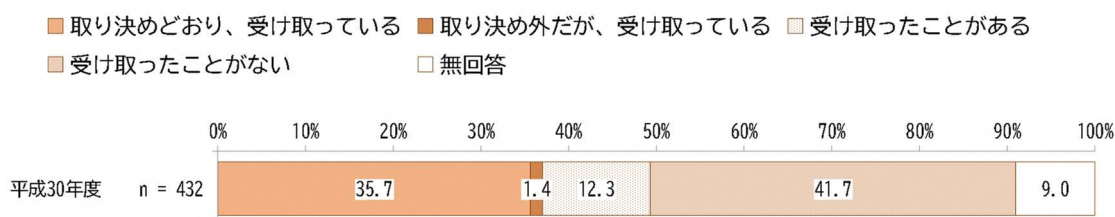
- ・「取り決めどおり、受け取っている」が 34.7%で最多、「取り決めはないし、受け取ってもいない」が 29.2%と続く

図表 39 養育費を受け取ったことがあるか



選択肢が異なるため直接比較はできないが、参考として平成 30 年度調査結果を示す。

図表 40 参考：養育費を受け取ったことがあるか（平成 30 年度調査結果）



6 親の就労状況について

(1) 父親の就労状況

問 21 お子さんのお父さんは、現在働いていますか。

・「働いている」が98.7%で、「働いていない」が0.9%である

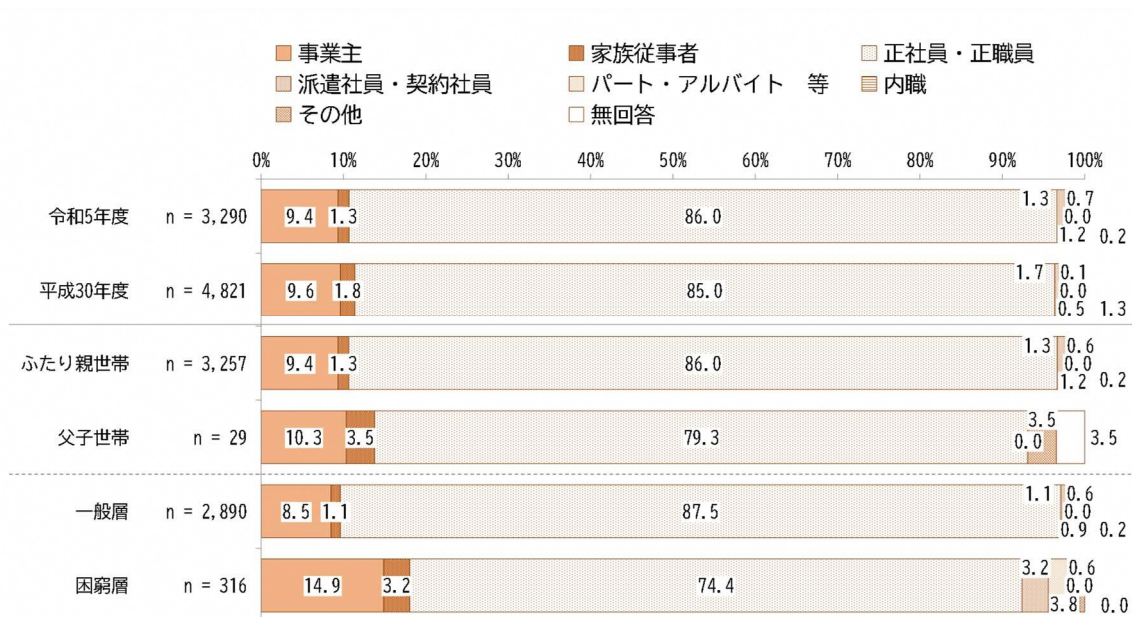
図表 41 父親の就労状況



問 21-1 勤務の形態は何ですか。

・「正社員・正職員」が86.0%で最多、「事業主」が9.4%で続く

図表 42 父親の勤務の形態

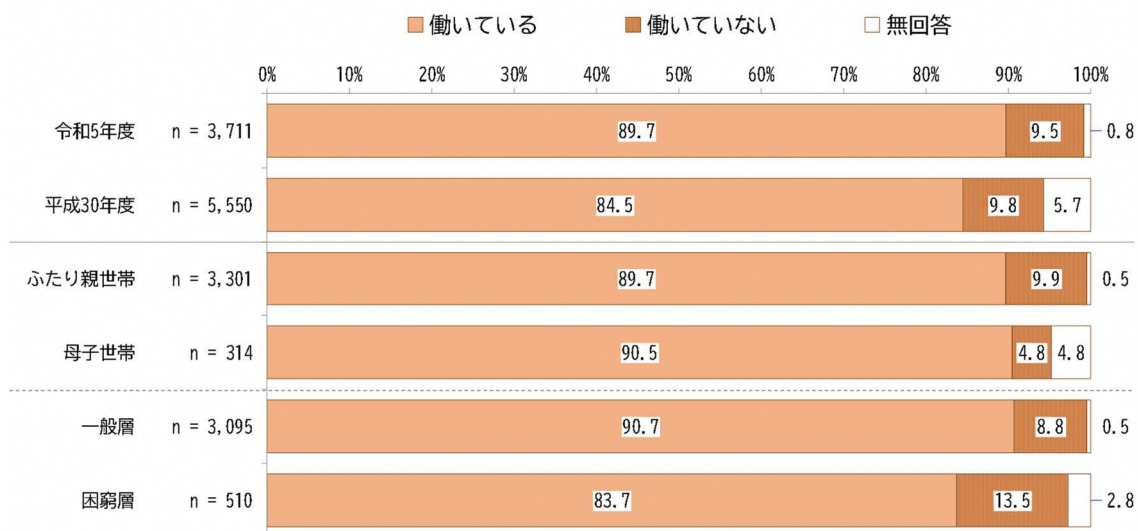


(2) 母親の就労状況

問 22 お子さんのお母さんは、現在働いていますか。

・「働いている」が89.7%で、「働いていない」が9.5%である

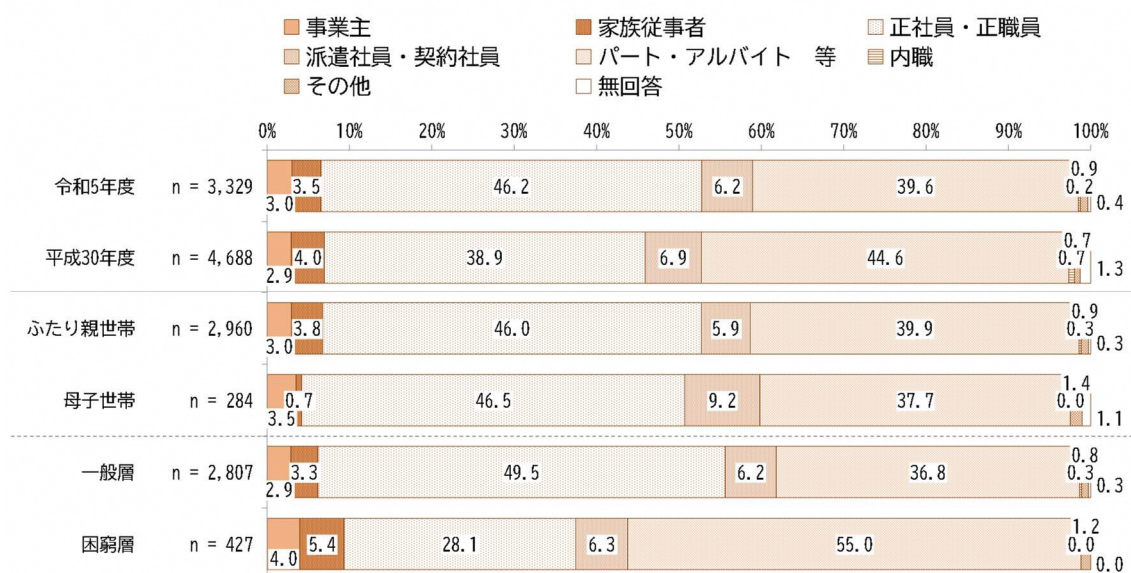
図表 43 母親の就労状況



問 22-1 勤務の形態は何ですか。

・「正社員・正職員」が46.2%で最多、「パート・アルバイト」が39.6%で続く

図表 44 母親の勤務の形態



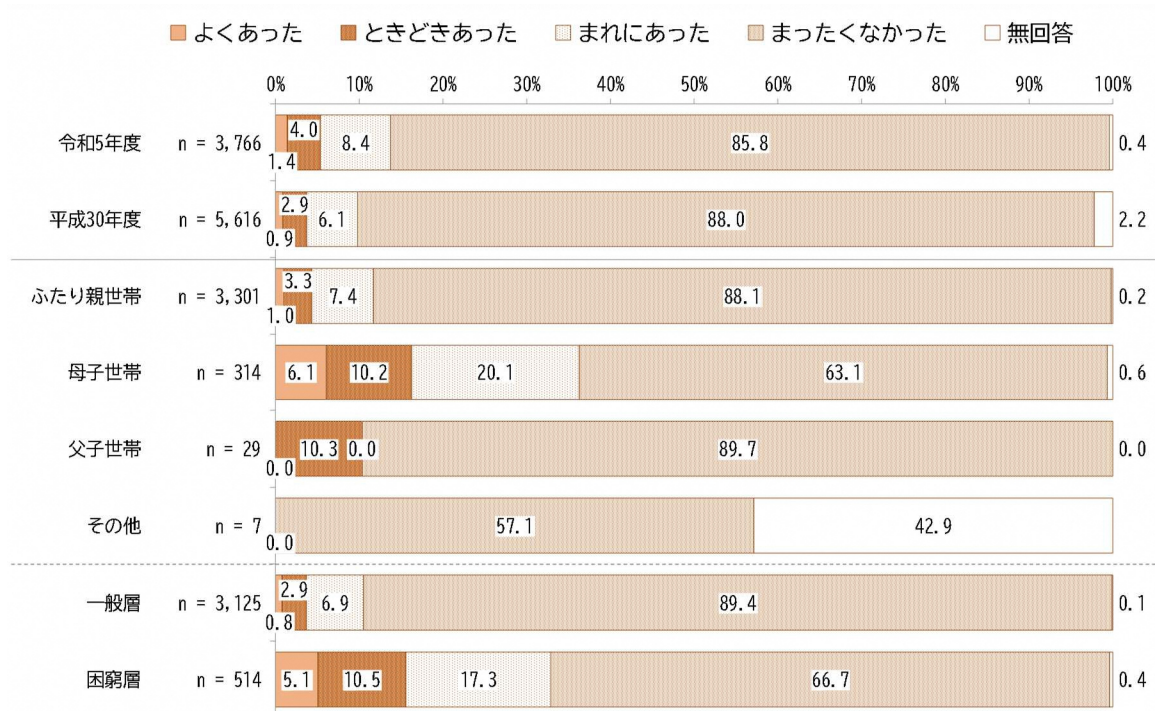
7 家計の状況について

(1) 必要な食糧を購入できなかった経験の有無

問 23 経済的な理由で、家族が必要な食料を買えなかったこと。

・「よくあった」が1.4%、「ときどきあった」が4.0%である

図表 45 経済的な理由で、家族が必要な食料を買えなかった経験の有無

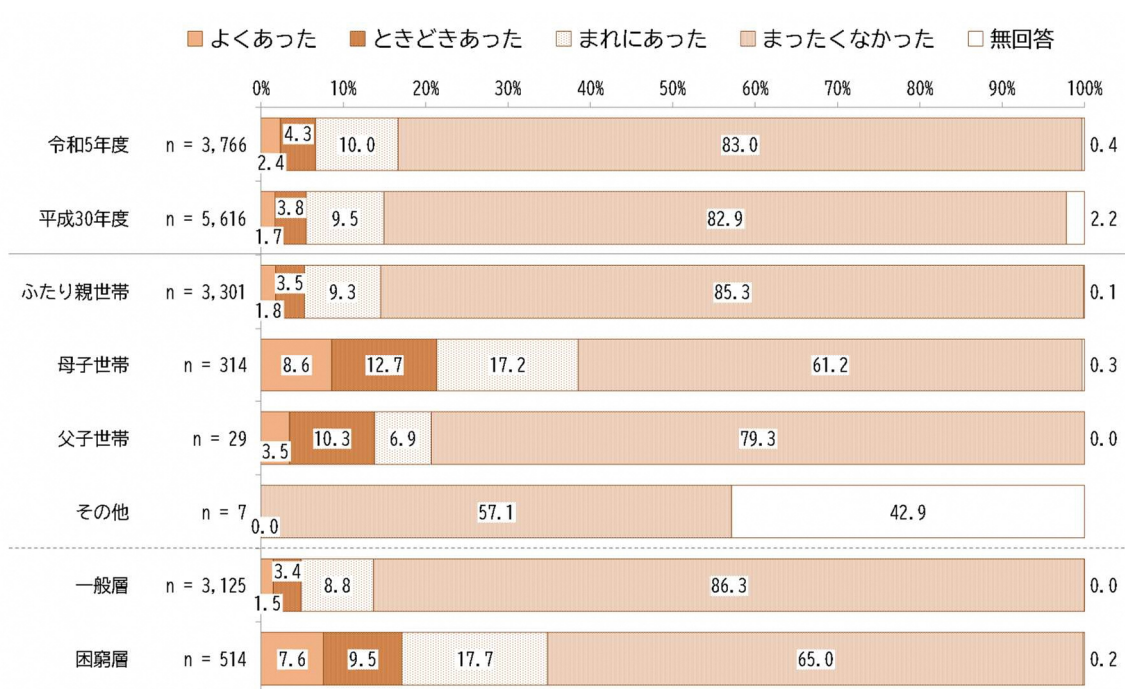


(2) 必要な衣類を購入できなかった経験の有無

問 24 経済的な理由で、家族が必要な衣料を買えなかったこと。

・「よくあった」が2.4%、「ときどきあった」が4.3%である

図表 46 経済的な理由で、家族が必要な衣料を買えなかった経験の有無

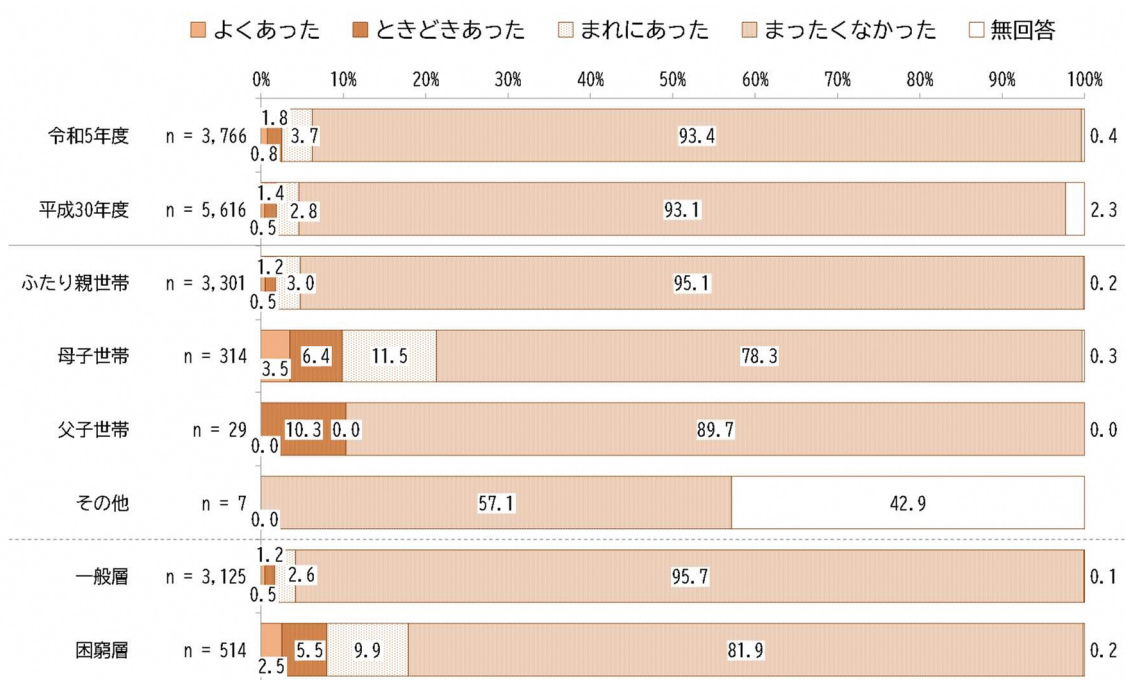


(3) お子さんの授業に必要な文具や教材を購入できなかった経験の有無

問 25 経済的な理由で、お子さんの授業に必要な文具や教材を買えなかったこと。

・「よくあった」が0.8%、「ときどきあった」が1.8%である

図表 47 経済的な理由で、お子さんの授業に必要な文具や教材を買えなかった経験の有無

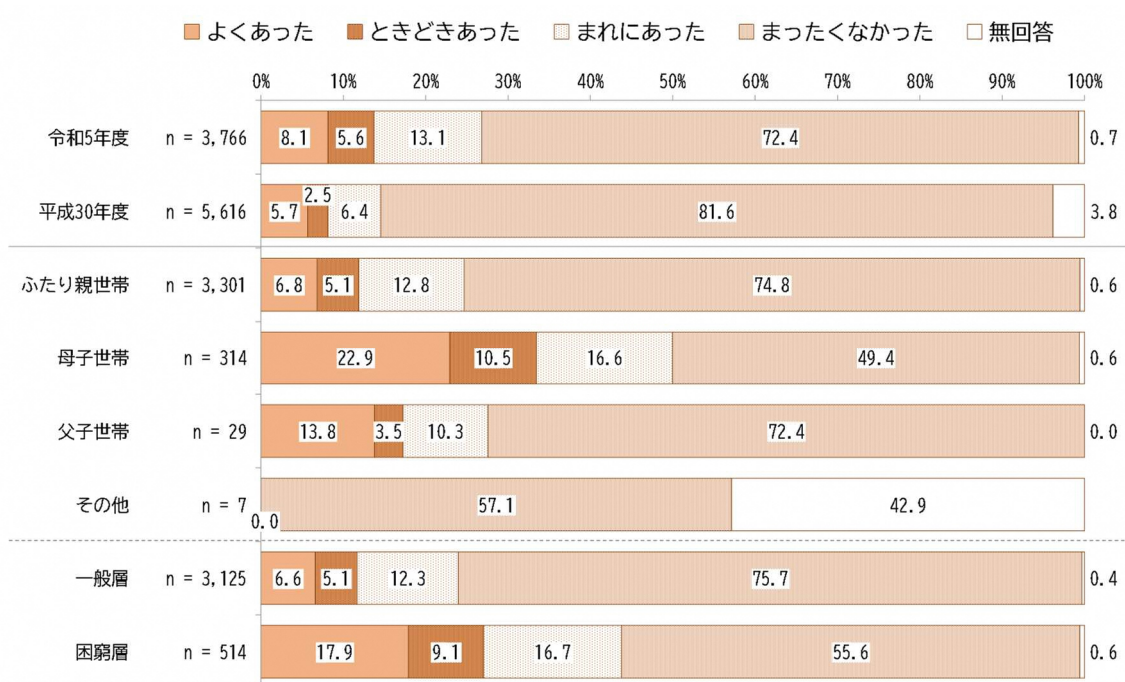


(4) お子さんを塾や習い事に通わせることができなかった経験の有無

問 26 経済的な理由で、お子さんを塾や習い事に通わせることができなかったこと。

・「よくあった」が8.1%、「ときどきあった」が5.6%である

図表 48 経済的な理由で、お子さんを塾や習い事に通わせることができなかった経験の有無

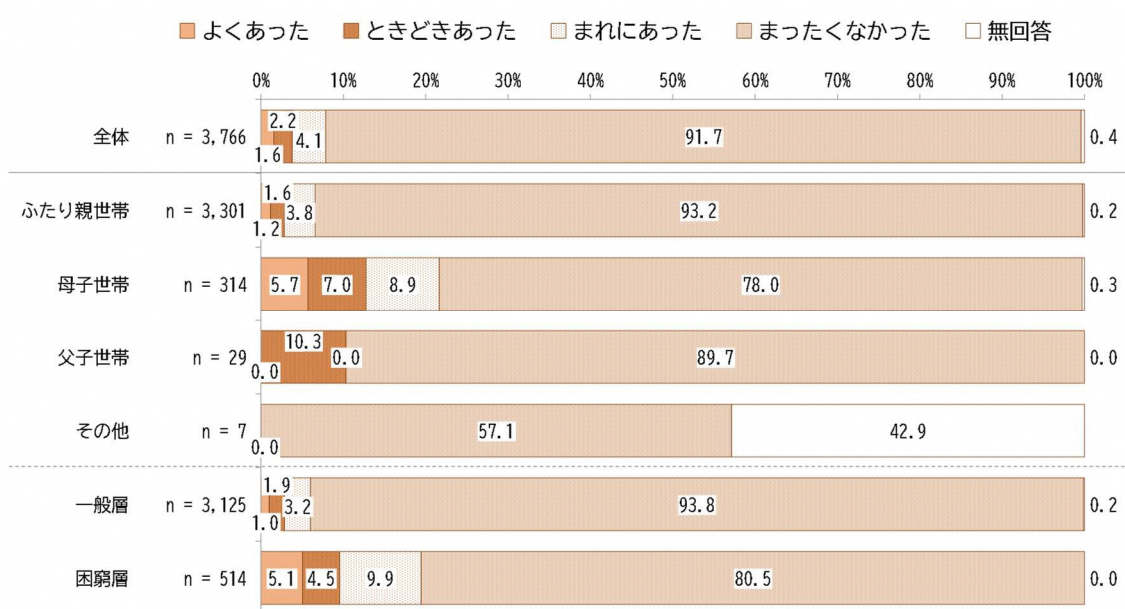


(5) 電気・ガス・水道料金・電話代の未払いがあった経験の有無

問 27 経済的な理由で、電気・ガス・水道料金・電話代の未払いがあったこと。

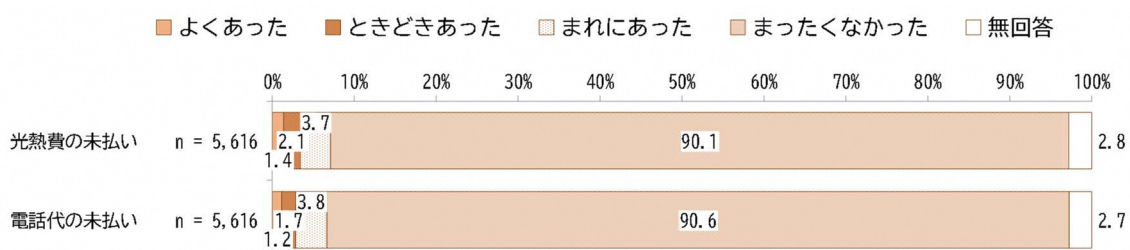
・「よくあった」が1.6%、「ときどきあった」が2.2%である

図表 49 経済的な理由で、電気・ガス・水道料金・電話代の未払い経験の有無



※平成30年度調査では光熱費と電話代を分けて確認しているため直接比較はできないが、参考として結果を示す。

図表 50 参考：経済的な理由で、電気・ガス・水道料金・電話代の未払い経験の有無
(平成30年度調査結果)

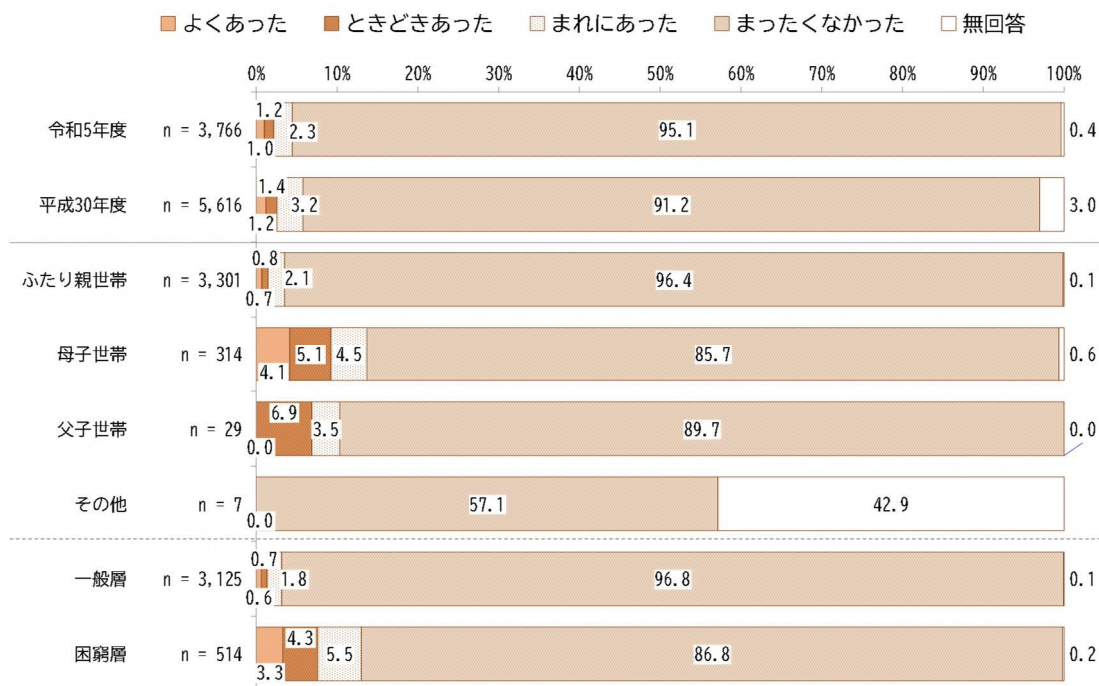


(6) 家賃や住宅ローンの滞納した経験の有無

問 28 経済的な理由で、家賃や住宅ローンの滞納があったこと。

・「よくあった」が1.0%、「ときどきあった」が1.2%である

図表 51 経済的な理由で、家賃や住宅ローンの滞納があった経験の有無

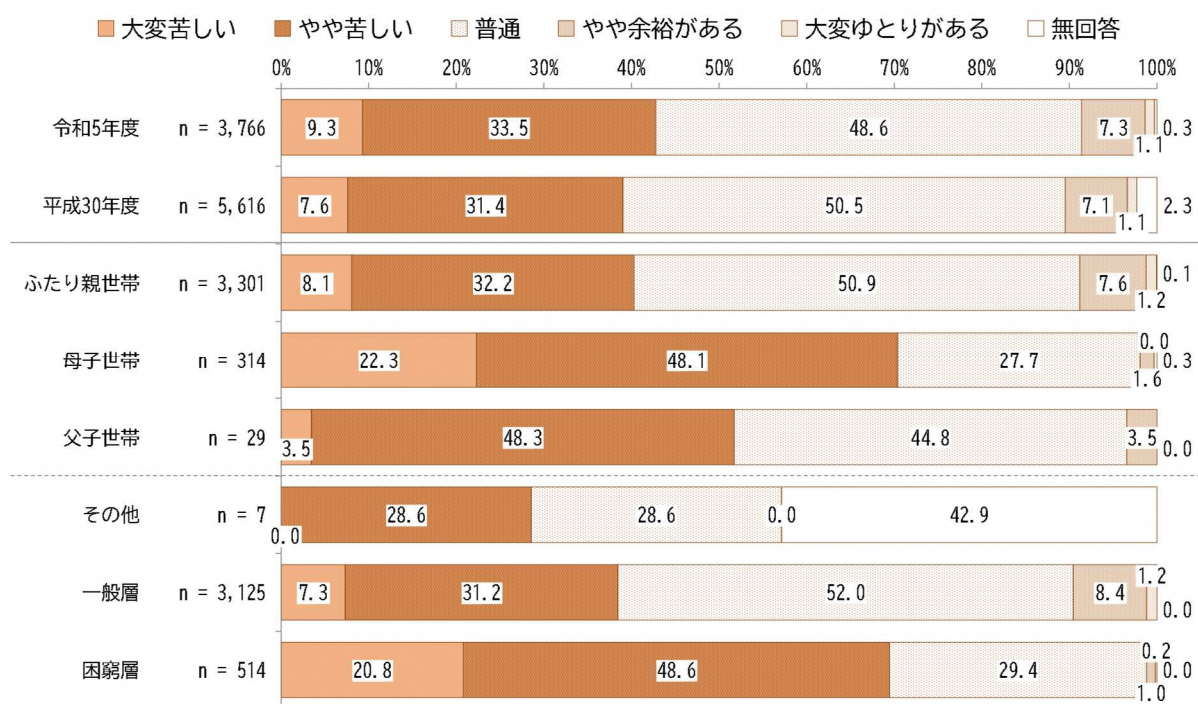


(7) 現在の暮らしの状況

問 29 あなたの世帯の現在の暮らしの状況を、総合的にみてどう感じていますか。

・「普通」が48.6%で最多、「やや苦しい」が33.5%と続く

図表 52 世帯の現在の暮らしの状況



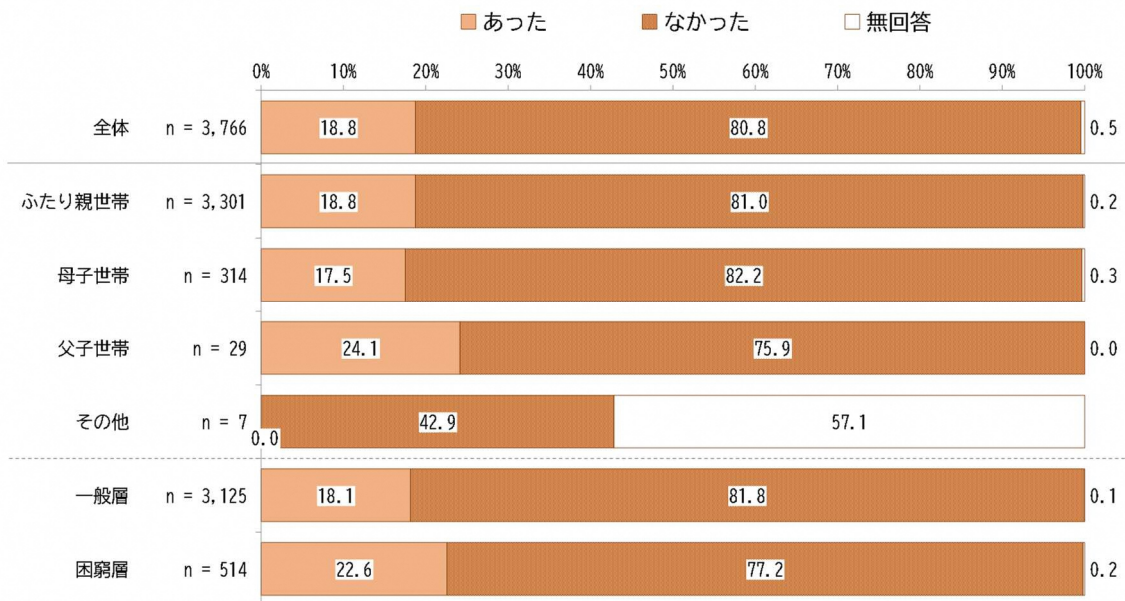
8 新型コロナウイルス感染症拡大前（令和2年3月以前）と比べて変わったこと

（1）在宅勤務など、働き方の変化

問 31 在宅勤務など、働き方の変化

・「なかった」が80.8%、「あった」が18.8%となっている。

図表 53 在宅勤務など、働き方の変化

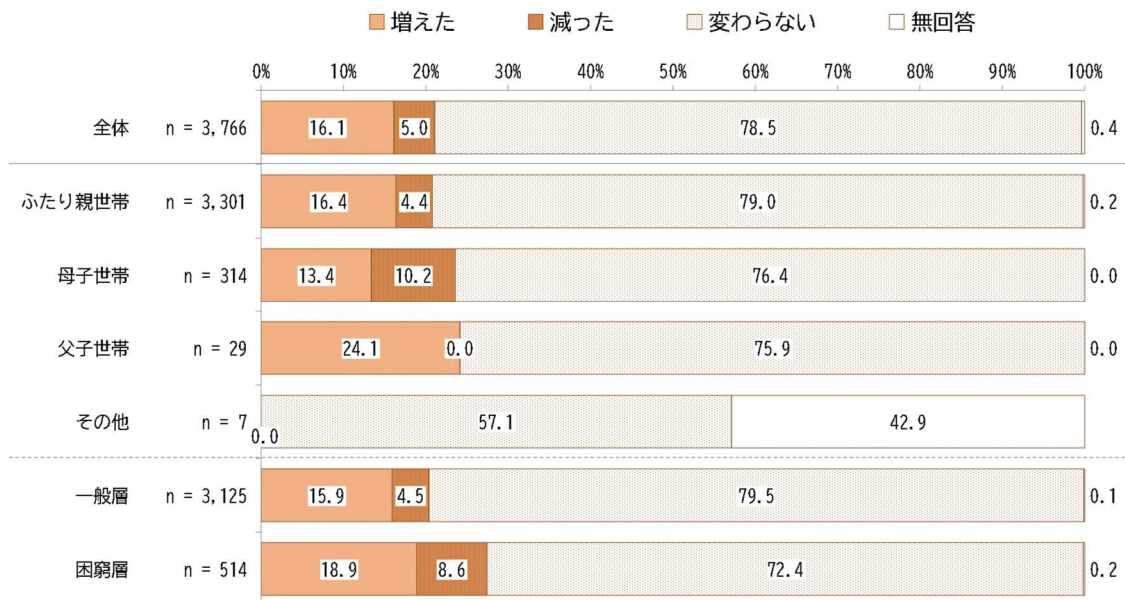


(2) 家族と過ごす時間の変化

問 32 家族と過ごす時間

・「変わらない」が78.5%で最多、「増えた」が16.1%と続く

図表 54 家族と過ごす時間

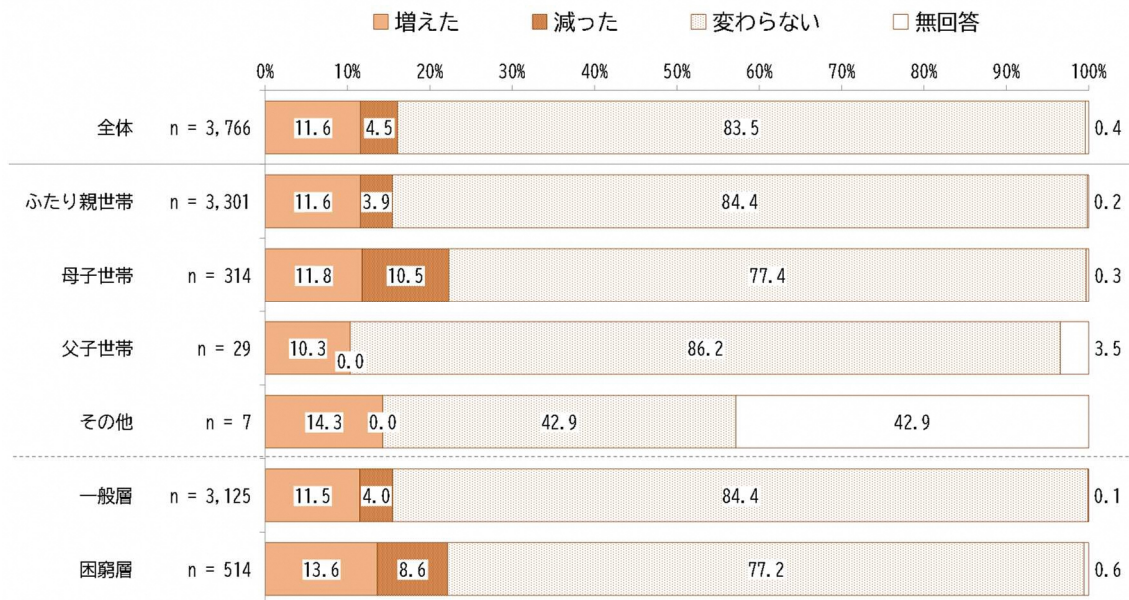


(3) お子さんと話をする機会の変化

問 33 お子さんと話をする機会

- ・「変わらない」が83.5%で最多、「増えた」が11.6%と続く

図表 55 お子さんと話をする機会



(4) 新型コロナウイルス禍で困ったことの有無

問 34 新型コロナウイルス禍で困ったことはありましたか。

- ・「困ったことはなかった」が 40.3%で最多、「あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈んだこと」が 31.7%と続く

図表 56 新型コロナウイルス禍で困ったことはありましたか

	調査数	家庭内でのめんどろが増えた	あなた自身、気分がイライラや不安を感じたり、気分が沈んだこと	収入が減った	子どもの預け先に困った	その他	困ったことはなかった	無回答
全体	3,766	8.3	31.7	16.5	19.5	6.9	40.3	0.7
ふたり親世帯	3,301	8.4	31.3	16.0	19.2	7.1	40.8	0.6
母子世帯	314	7.3	34.1	23.6	21.3	5.4	35.4	0.6
父子世帯	29	13.8	31.0	10.3	20.7	0.0	48.3	0.0
その他	7	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	42.9	42.9
一般層	3,125	7.7	30.8	13.4	19.8	7.5	42.4	0.3
困窮層	514	11.5	37.6	33.1	19.5	4.3	29.2	0.8

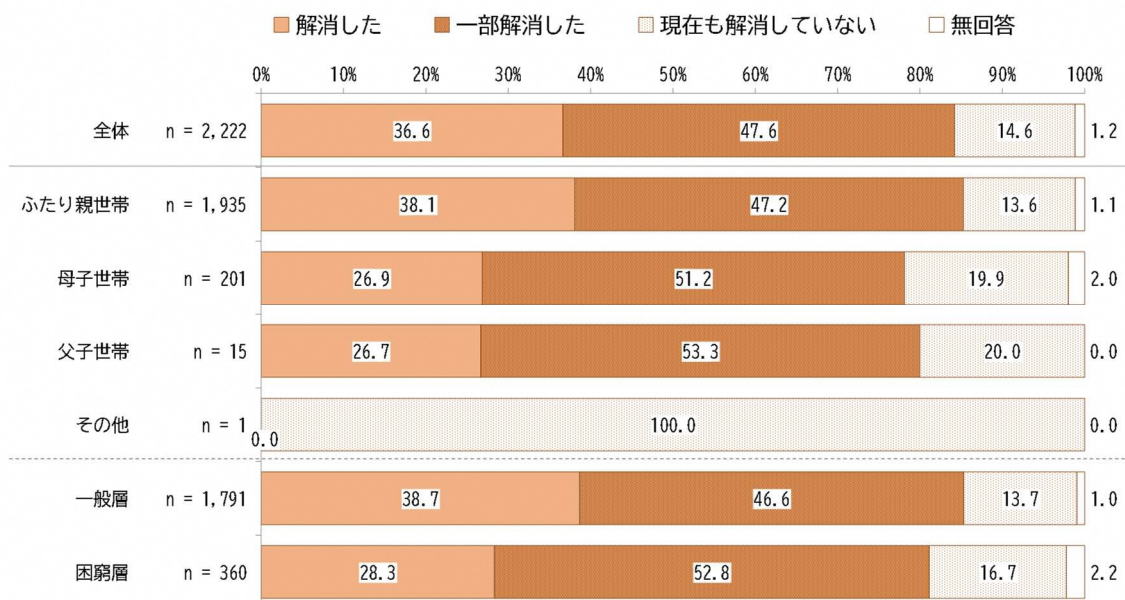
図表 57 新型コロナウイルス禍で困ったことはありましたか その他内容(抜粋)

項目	件数
行動制限や外出制限により、子どもの経験が減少した	52
子どもが濃厚接触者等に該当し、仕事を休まなければいけないことが増えた	34
学校行事等の縮小、縮小による子どもの経験が減少した	23
家族が感染した際の隔離や食料調達が大変だった	14
周りとの意見の食い違いがあった	12
マスクや衛生品、感染予防の費用がかさんだ	10
子どもが外出や遊びに行かなくなった、遊べる場所が減った	10

問 34-1 その問題は、現在は解消しましたか。

・「一部解消した」が47.6%で最多、「解消した」が36.6%と続く

図表 58 その問題は、現在は解消しましたか



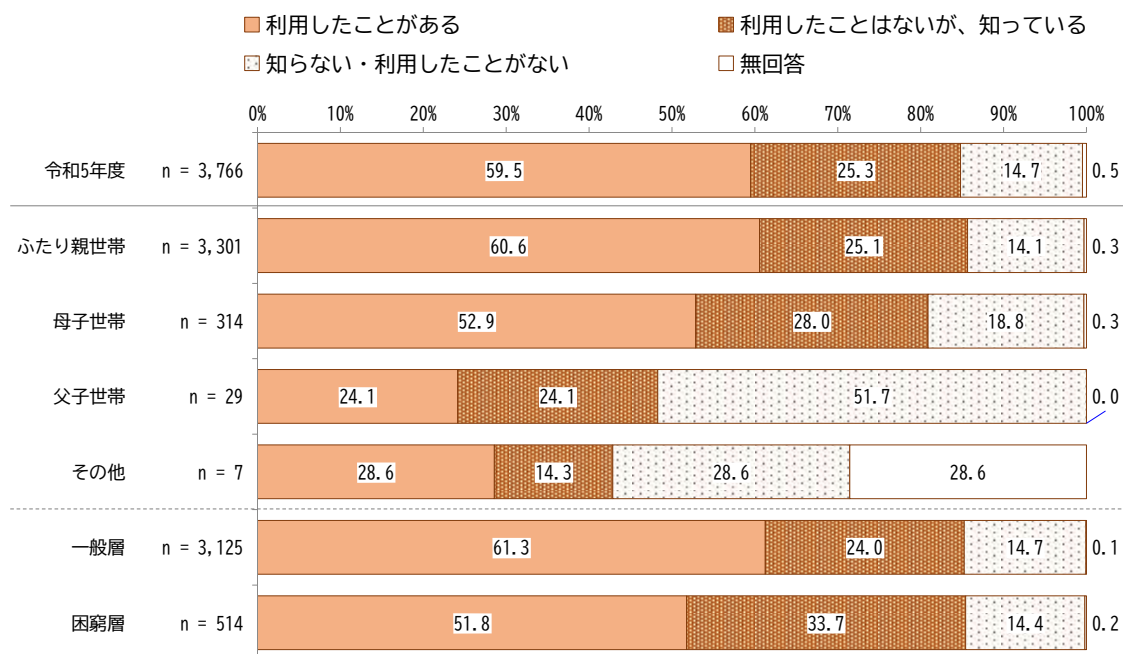
9 上越市の施設や、相談窓口の利用について

(1) こどもセンター

問 35 こどもセンターを利用したことがありますか。

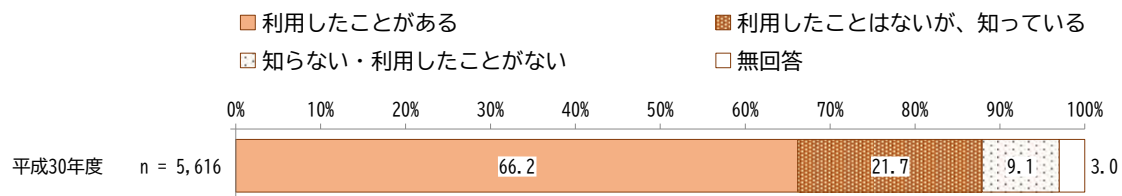
- ・「利用したことがある」が 59.5%で最多、「利用したことはないが、知っている」が 25.3%と続く

図表 59 こどもセンターの利用経験、認知度



※平成 30 年度調査では「こどもセンターまたは子育てひろば」の利用、認知度を確認しているため直接比較はできないが、参考として結果を示す。

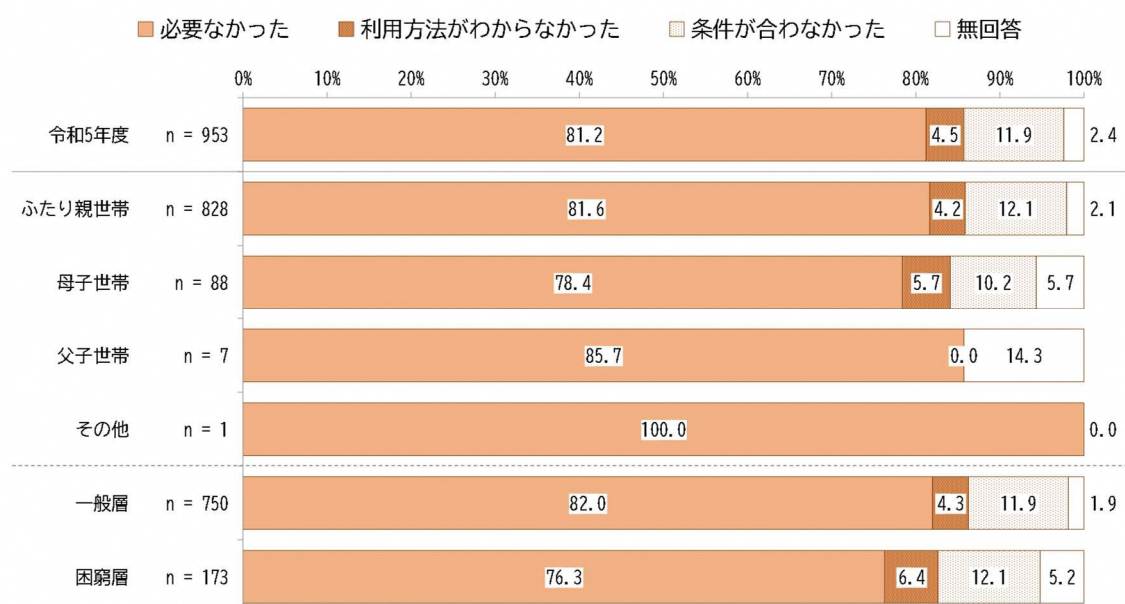
図表 60 参考：こどもセンターまたは子育てひろばの利用経験、認知度（平成 30 年度調査結果）



問 35-1 利用しなかった理由を教えてください。（「利用したことはないが知っている」人のみ）

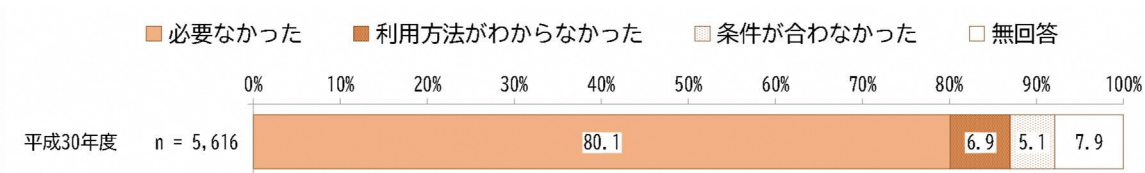
・「必要なかった」が81.2%で最多、「条件が合わなかった」が11.9%と続く

図表 61 こどもセンターを利用しなかった理由



※平成30年度調査では「こどもセンターまたは子育てひろば」の利用しなかった理由を確認しているため直接比較はできないが、参考として結果を示す。

図表 62 参考:こどもセンターまたは子育てひろばを利用しなかった理由(平成30年度調査結果)

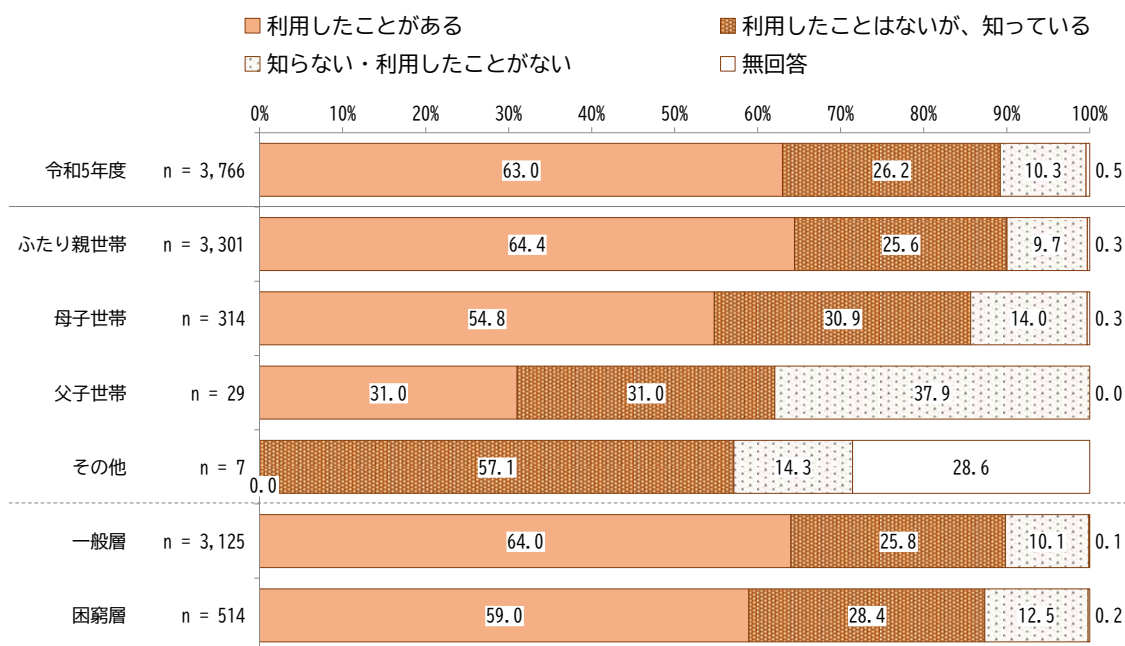


(2) 子育てひろば

問 36 子育てひろばを利用したことがありますか。

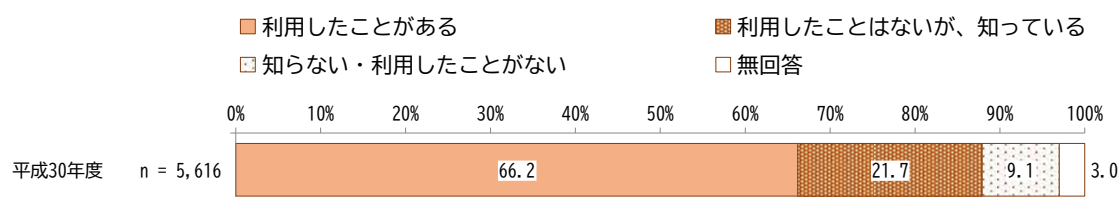
- ・「利用したことがある」が 63.0%で最多、「利用したことはないが、知っている」が 26.2%と続く

図表 63 子育てひろばの利用経験、認知度



※平成 30 年度調査では「こどもセンターまたは子育てひろば」の利用、認知度を確しているため直接比較はできないが、参考として結果を示す。

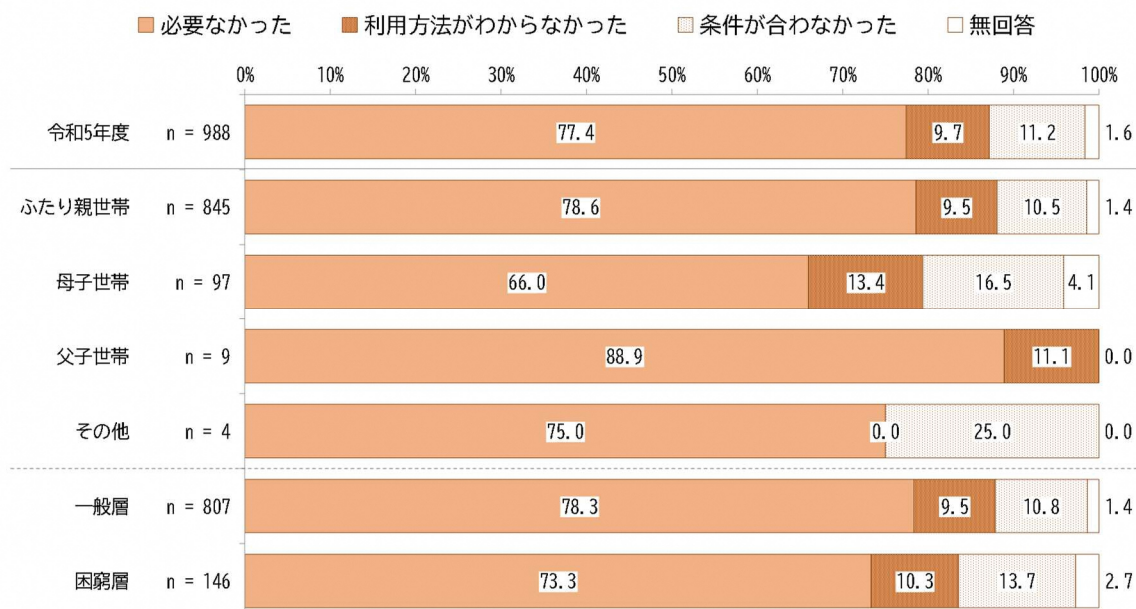
図表 64 参考:こどもセンターまたは子育てひろばの利用経験、認知度(平成 30 年度調査結果)(再掲)



問 36-1 利用しなかった理由を教えてください。（「利用したことはないが知っている」人のみ）

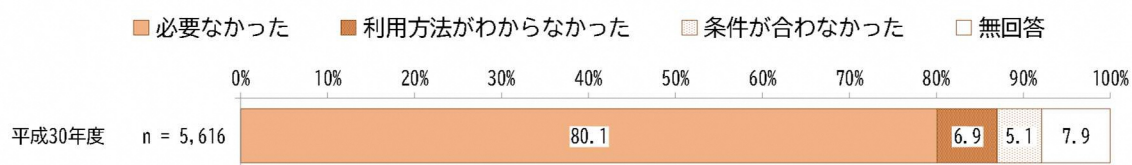
・「必要なかった」が 77.4%で最多、「条件が合わなかった」が 11.2%と続く

図表 65 子育てひろばを利用しなかった理由



※平成 30 年度調査では「こどもセンターまたは子育てひろば」の利用しなかった理由を確認しているため直接比較はできないが、参考として結果を示す。

図表 66 参考:こどもセンターまたは子育てひろばを利用しなかった理由(平成 30 年度調査結果)(再掲)

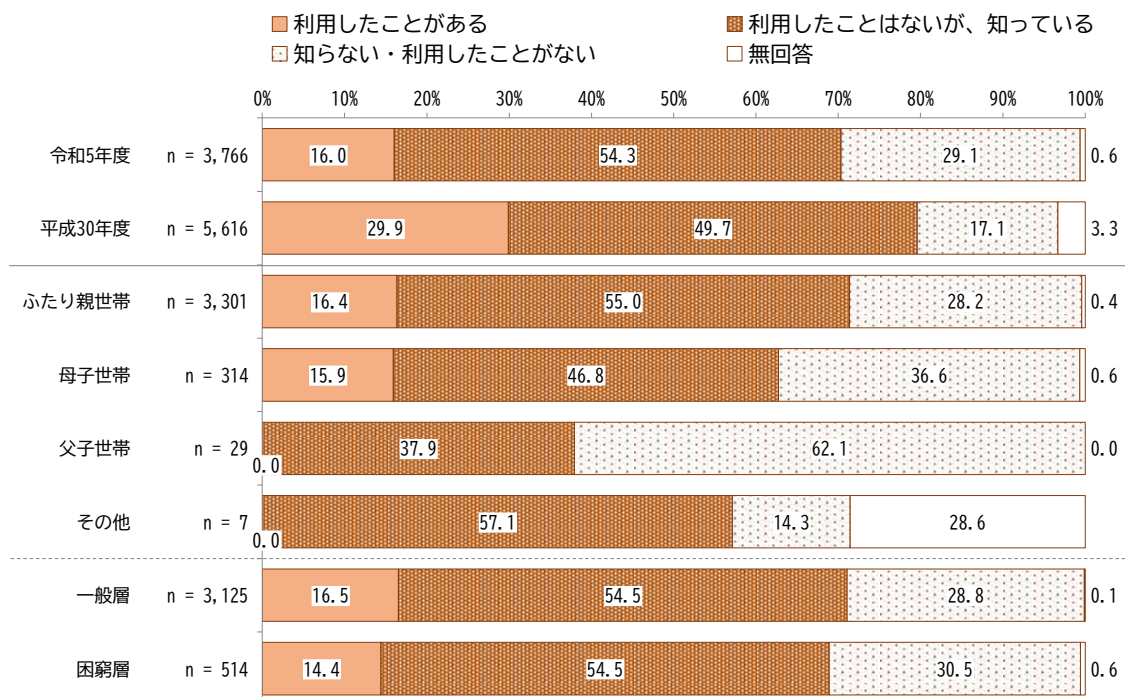


(3) 保育園またはオーレンプラザこどもセンターの一時預かり

問 37 保育園またはオーレンプラザこどもセンターの一時預かりを利用したことがありますか。

- ・「利用したことはないが、知っている」が 54.3%で最多、「知らない・利用したことがない」が 29.1%と続く

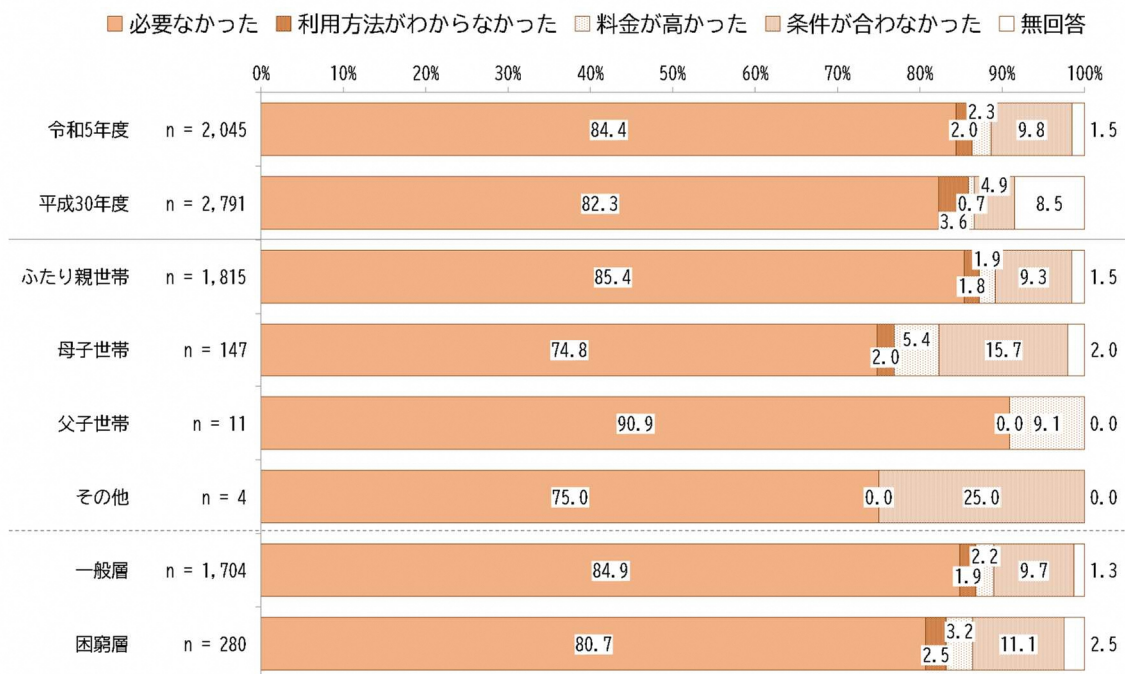
図表 67 保育園またはオーレンプラザこどもセンターの一時預かりの利用経験、認知度



問 37-1 利用しなかった理由を教えてください。（「利用したことはないが知っている」人のみ）

・「必要なかった」が84.4%で最多、「条件が合わなかった」が9.8%と続く

図表 68 保育園またはオーレンプラザこどもセンターの一時預かりを利用しなかった理由

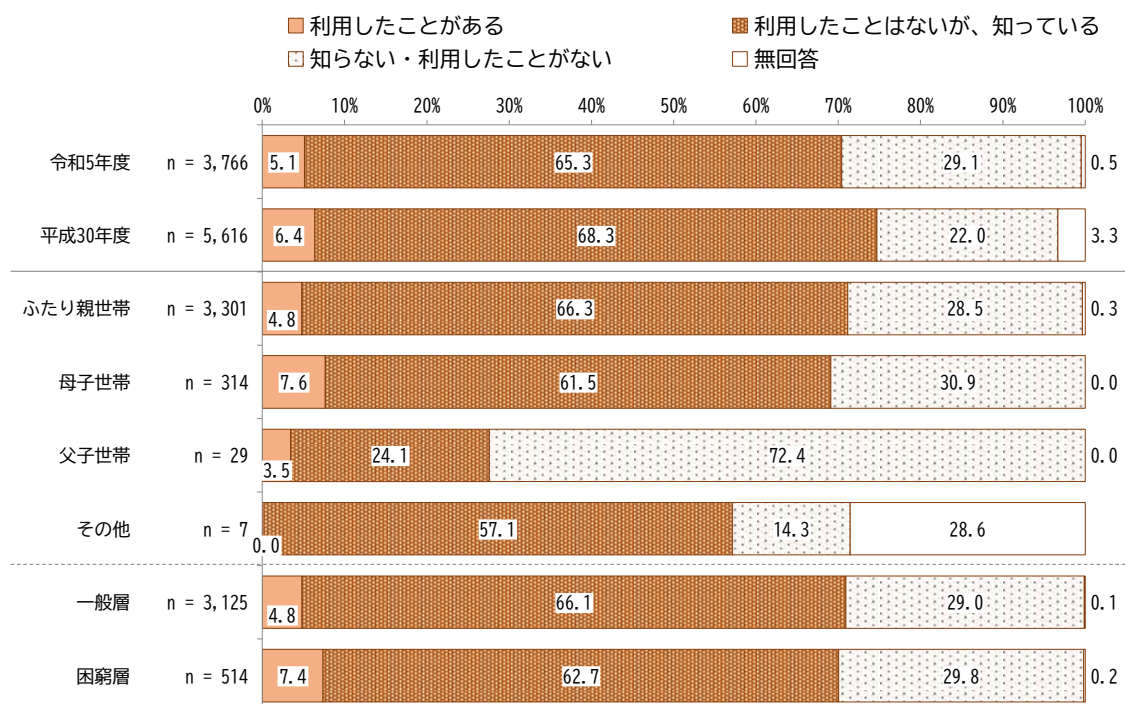


(4) ファミリーサポートセンター

問 38 ファミリーサポートセンターを利用したことがありますか。

- ・「利用したことはないが、知っている」が 65.3%で最多、「知らない・利用したことがない」が 29.1%と続く

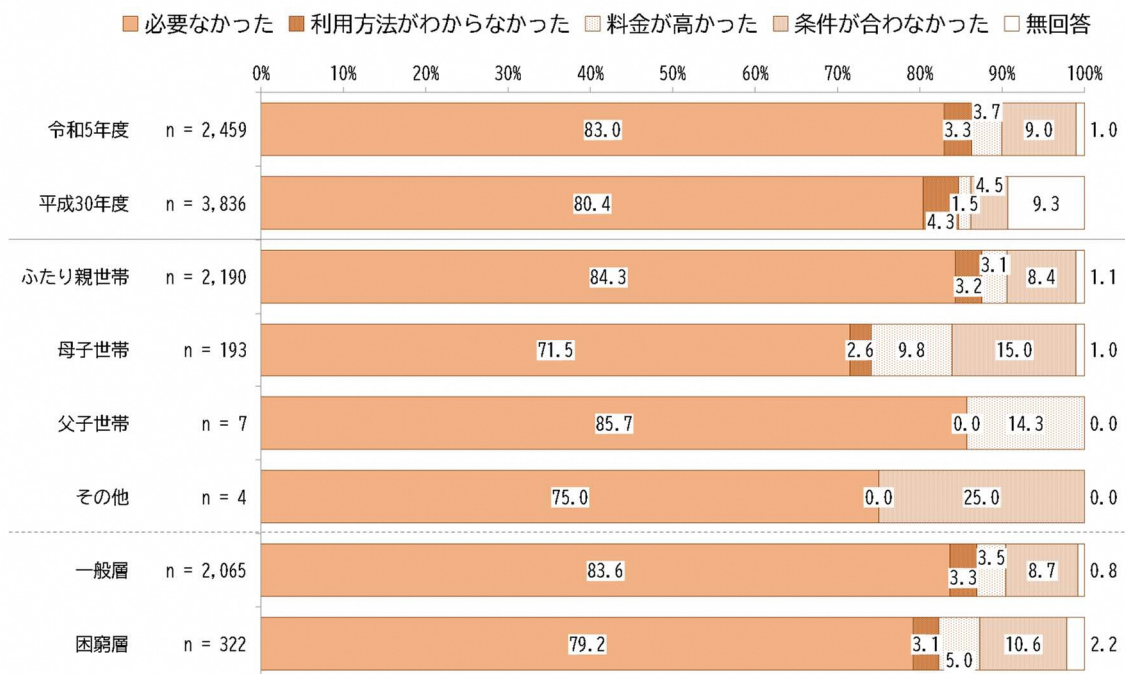
図表 69 ファミリーサポートセンターの利用経験、認知度



問 38-1 利用しなかった理由を教えてください。（「利用したことはないが知っている」人のみ）

・「必要なかった」が83.0%で最多、「条件が合わなかった」が9.0%と続く

図表 70 ファミリーサポートセンターを利用しなかった理由

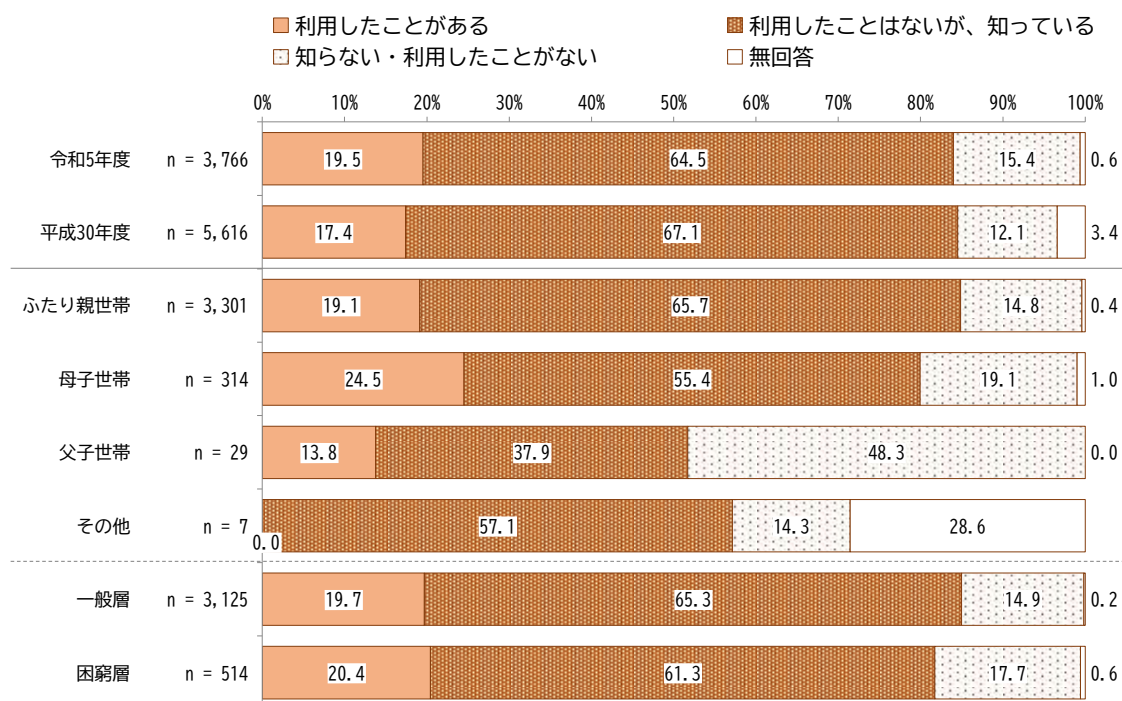


(5) ファミリーヘルプ保育園

問 39 ファミリーヘルプ保育園を利用したことがありますか。

- ・「利用したことはないが、知っている」が 64.5%で最多、「利用したことがある」が 19.5%と続く

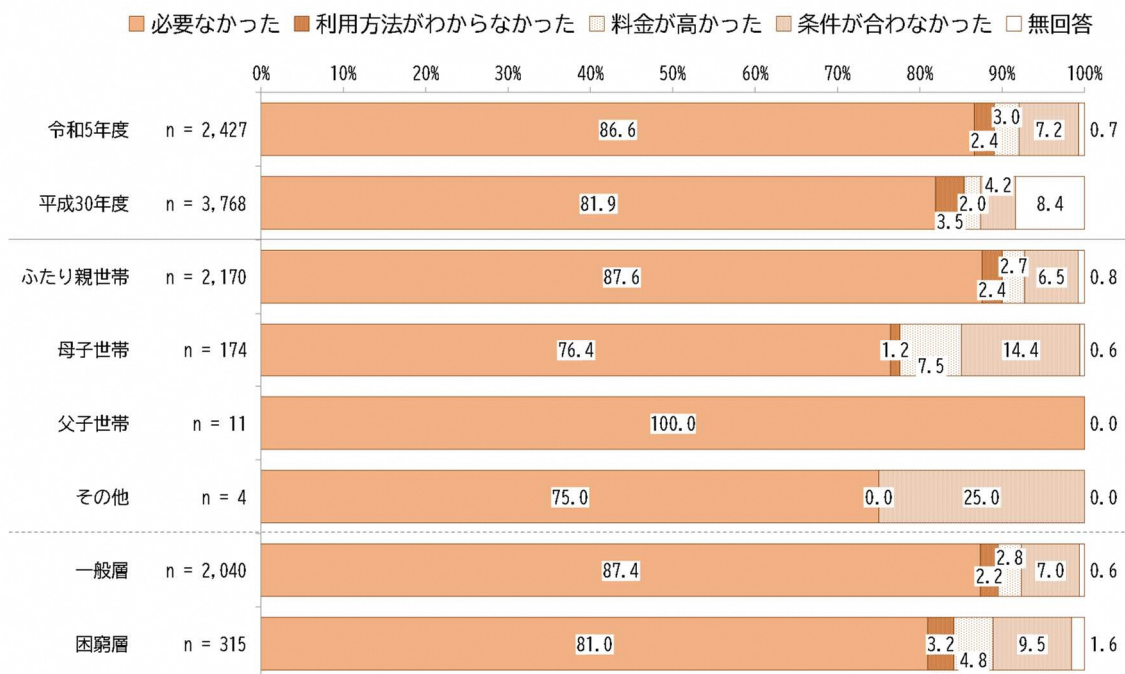
図表 71 ファミリーヘルプ保育園の利用経験、認知度



問 39-1 利用しなかった理由を教えてください。（「利用したことはないが知っている」人のみ）

・「必要なかった」が86.6%で最多、「条件が合わなかった」が7.2%と続く

図表 72 ファミリーヘルプ保育園を利用しなかった理由

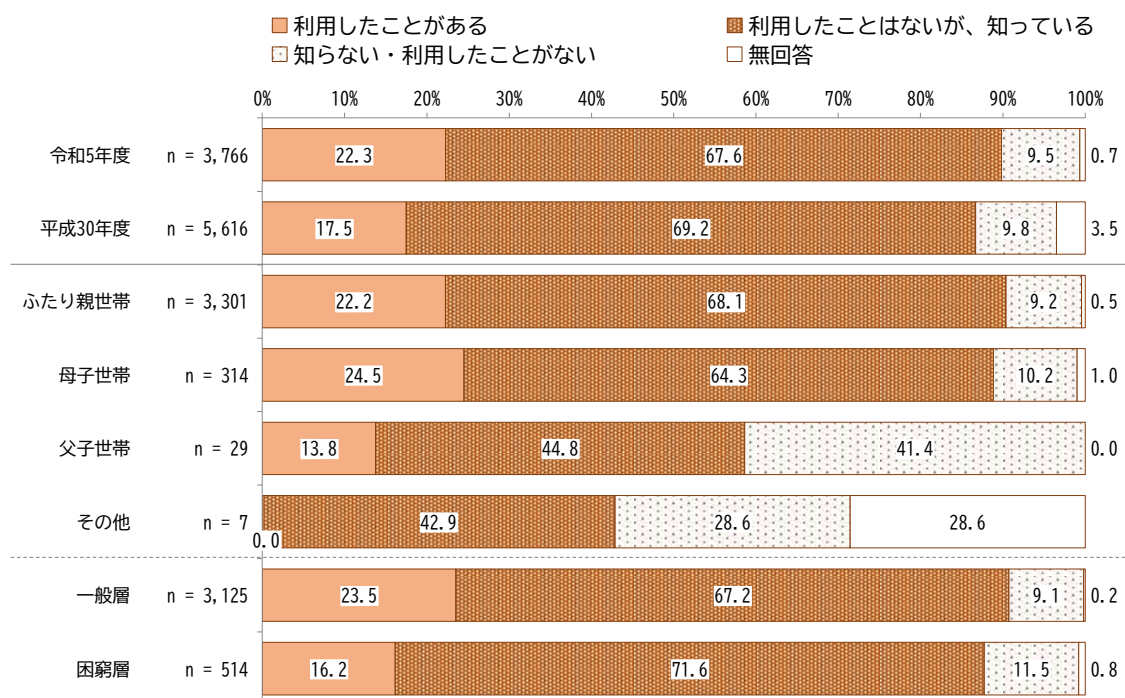


(6) 病児・病後児保育室

問 40 病児・病後児保育室を利用したことがありますか。

- ・「利用したことはないが、知っている」が 67.6%で最多、「利用したことがある」が 22.3%と続く

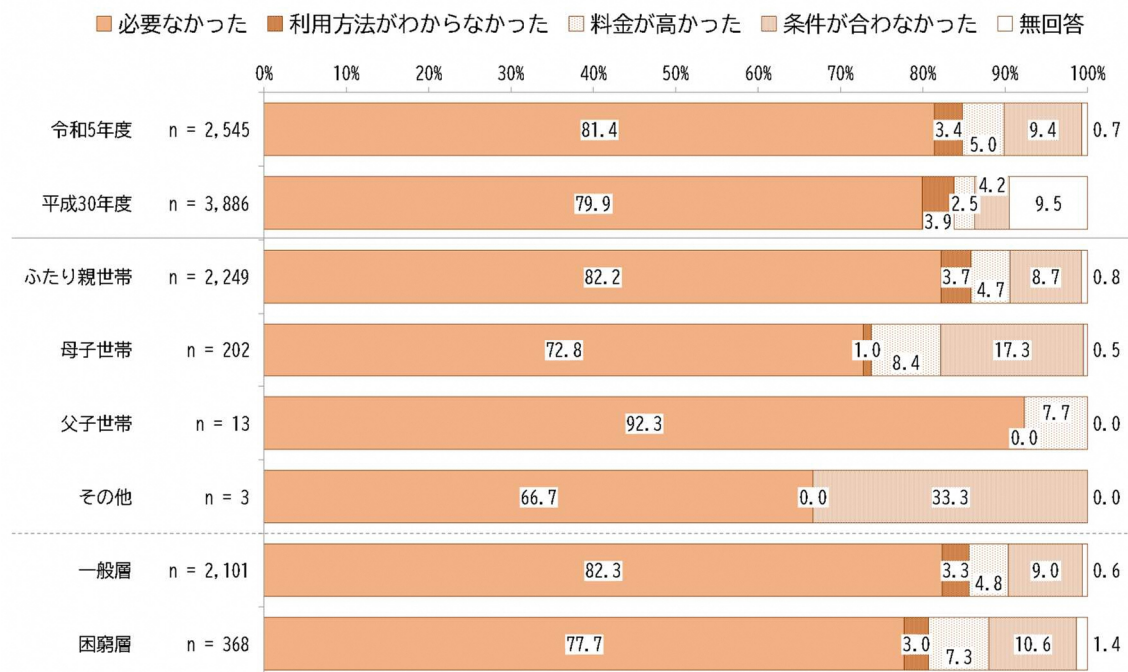
図表 73 病児・病後児保育室の利用経験、認知度



問 40-1 利用しなかった理由を教えてください。（「利用したことはないが知っている」人のみ）

・「必要なかった」が81.4%で最多、「条件が合わなかった」が9.4%と続く

図表 74 病児・病後児保育室を利用しなかった理由

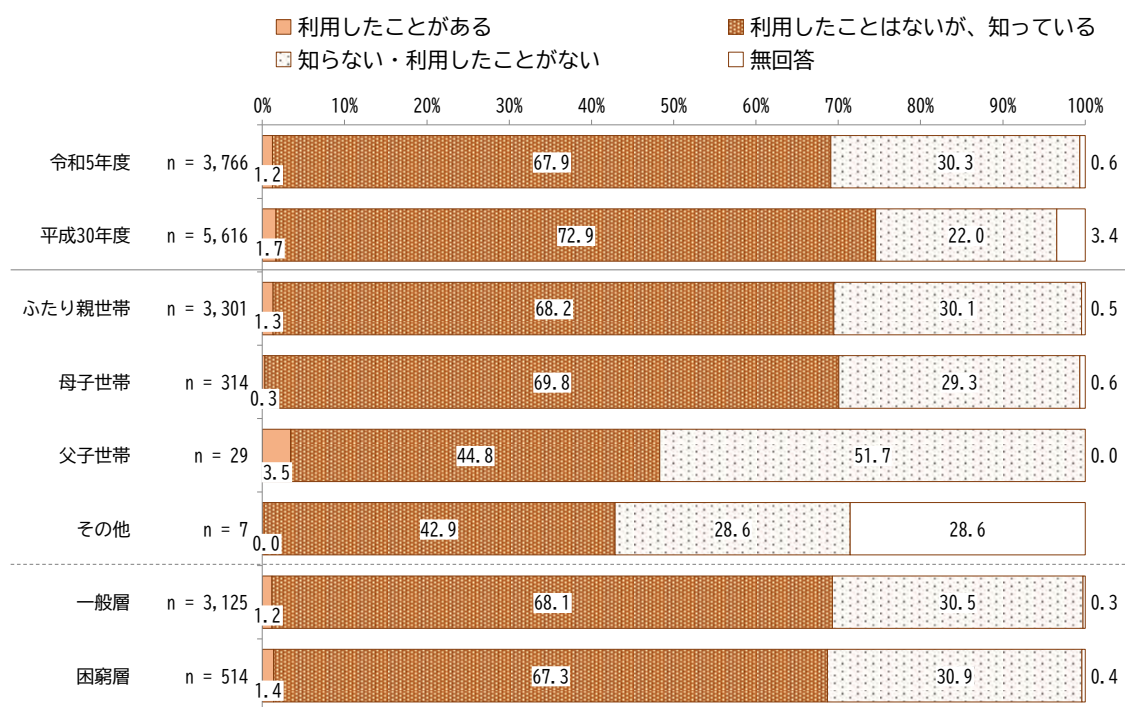


(7) 子どもほっとライン

問 41 子どもほっとラインを利用したことがありますか。

- ・「利用したことはないが、知っている」が 67.9%で最多、「知らない・利用したことがない」が 30.3%と続く

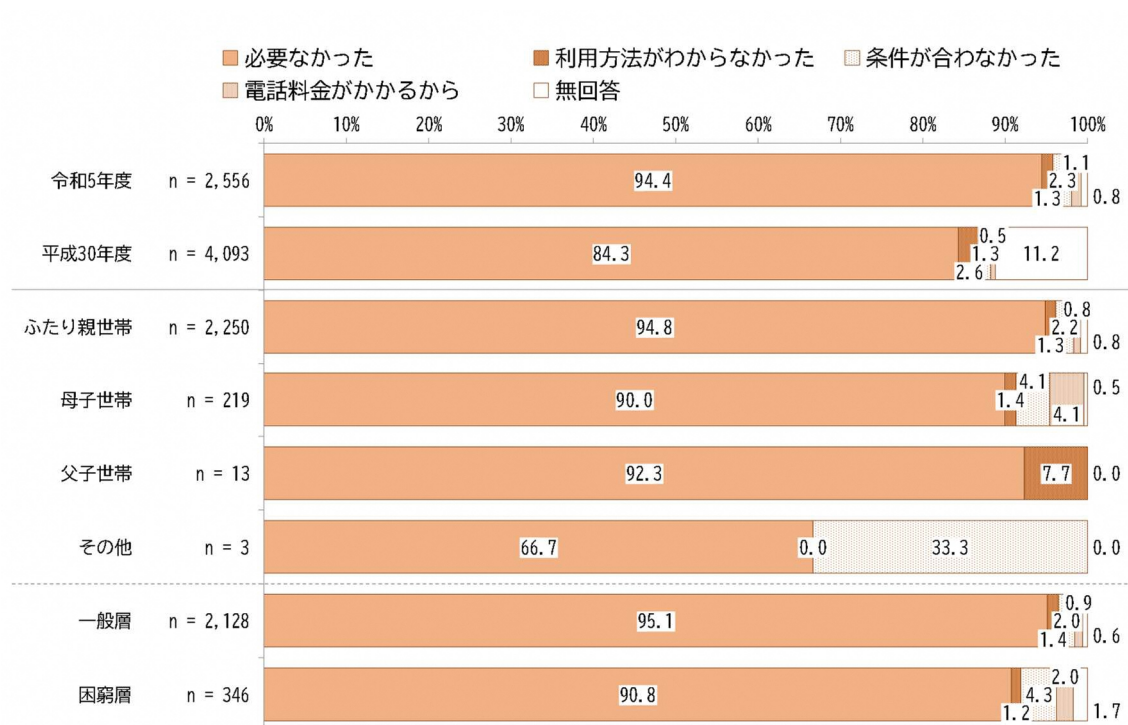
図表 75 子どもほっとラインの利用経験、認知度



問 41-1 利用しなかった理由を教えてください。（「利用したことはないが知っている」人のみ）

- ・「必要なかった」が94.4%で最多、「条件が合わなかった」が2.3%と続く

図表 76 子どもほっとラインを利用しなかった理由

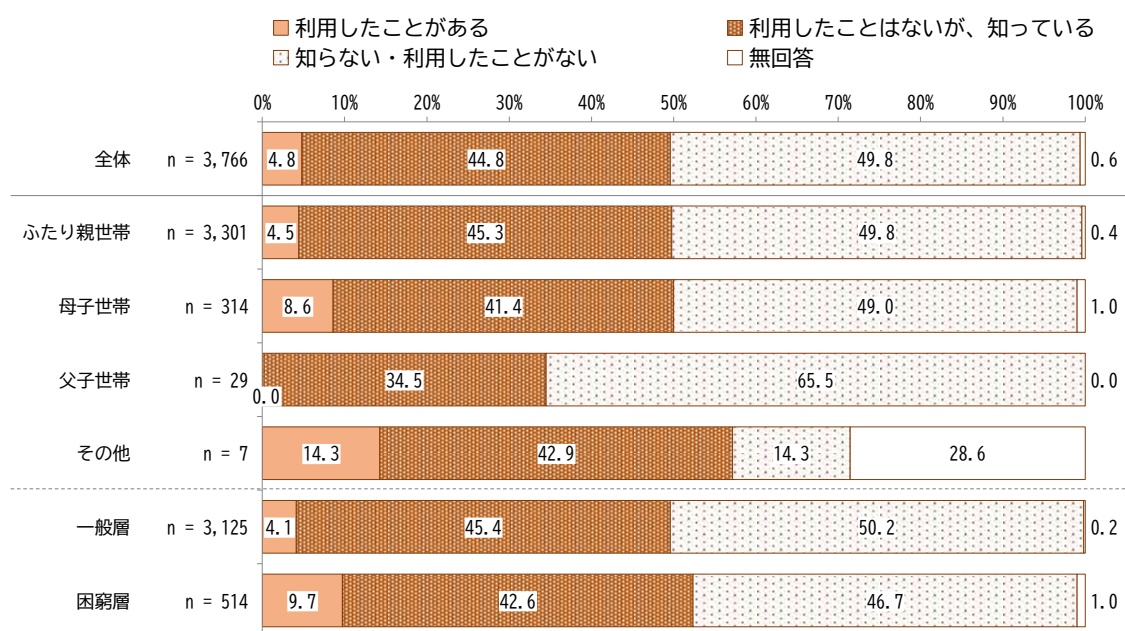


(8) すこやかにくらし包括支援センター相談窓口

問 42 すこやかにくらし包括支援センター相談窓口を利用したことがありますか。

- ・「知らない・利用したことがない」が 49.8%で最多、「利用したことはないが、知っている」が 44.8%と続く

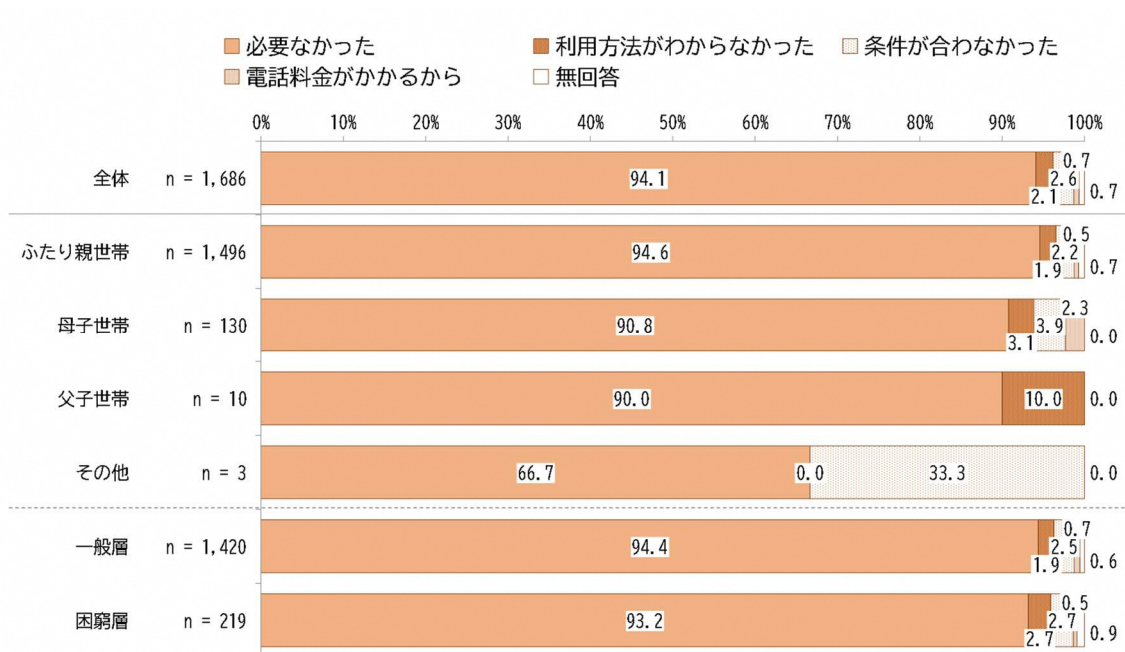
図表 77 すこやかにくらし包括支援センター相談窓口の利用経験、認知度



問 42-1 利用しなかった理由を教えてください。（「利用したことはないが知っている」人のみ）

・「必要なかった」が94.1%で最多、「条件が合わなかった」が2.6%と続く

図表 78 こやかなくらし包括支援センター相談窓口を利用しなかった理由



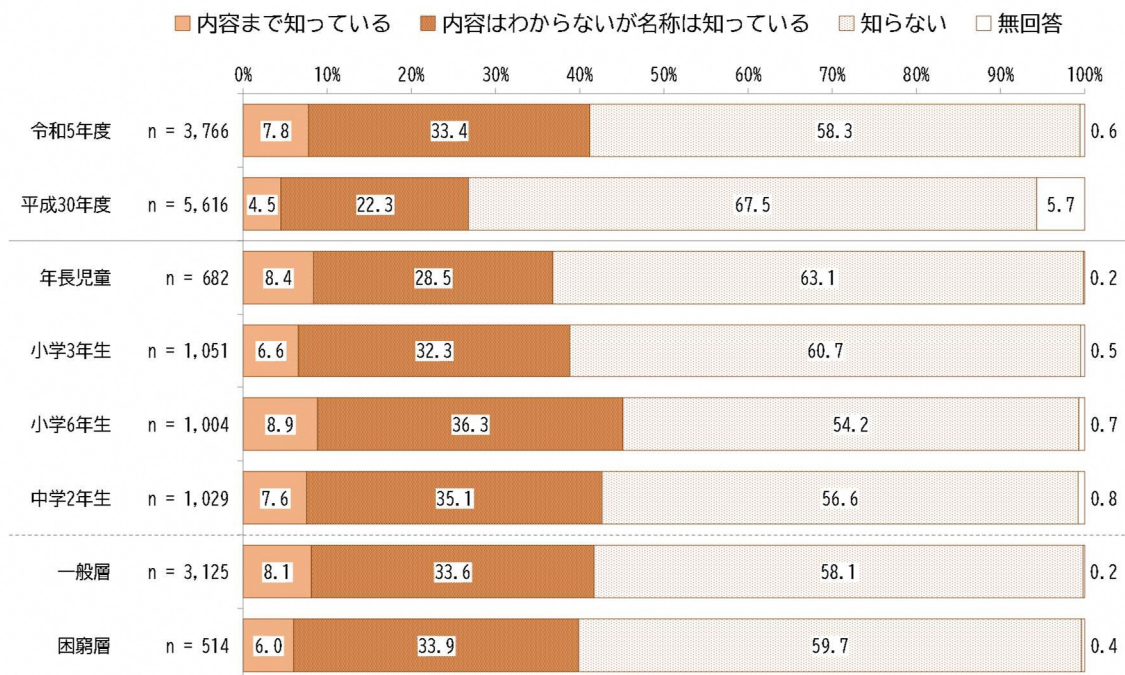
10 子どもの権利について

(1) 上越市子どもの権利条例の認知度

問 43 あなたは上越市子どもの権利条例をどの程度知っていますか。

・「内容まで知っている」が7.8%、「内容はわからないが名称は知っている」が33.4%である

図表 79 上越市子どもの権利条例の認知度

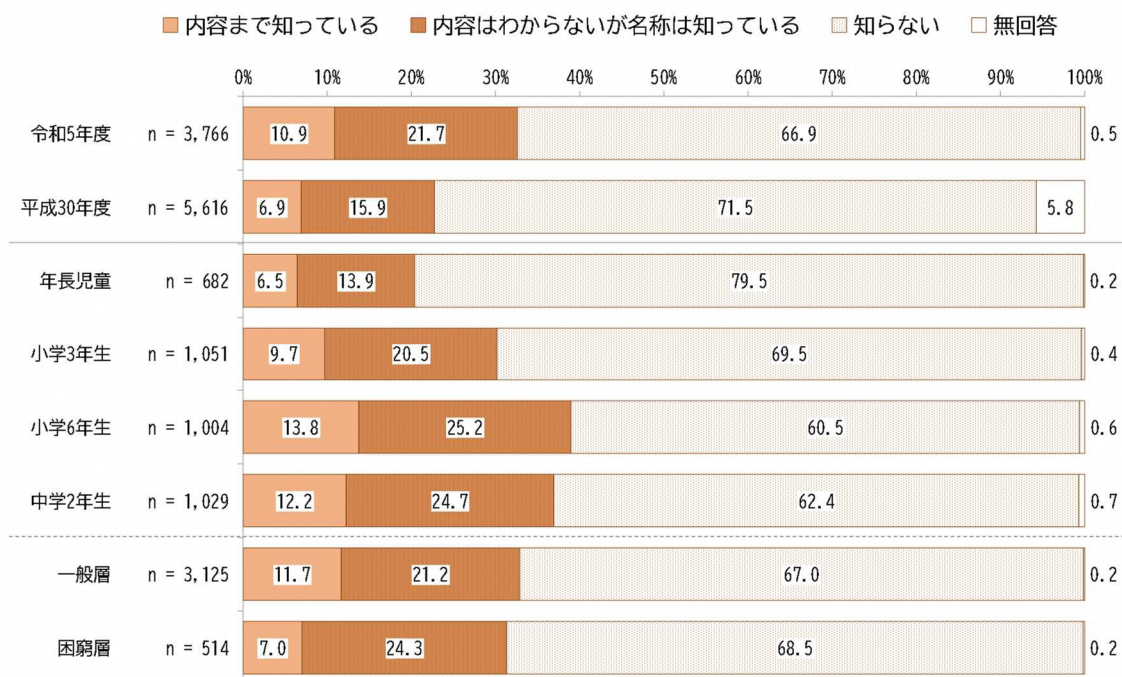


(2) 上越市子どもの権利学習テキスト「えがお」の認知度

問 44 あなたは上越市子どもの権利学習テキスト「えがお」をどの程度知っていますか。

- ・「内容まで知っている」が 10.9%、「内容はわからないが名称は知っている」が 21.7%である

図表 80 上越市子どもの権利学習テキスト「えがお」の認知度

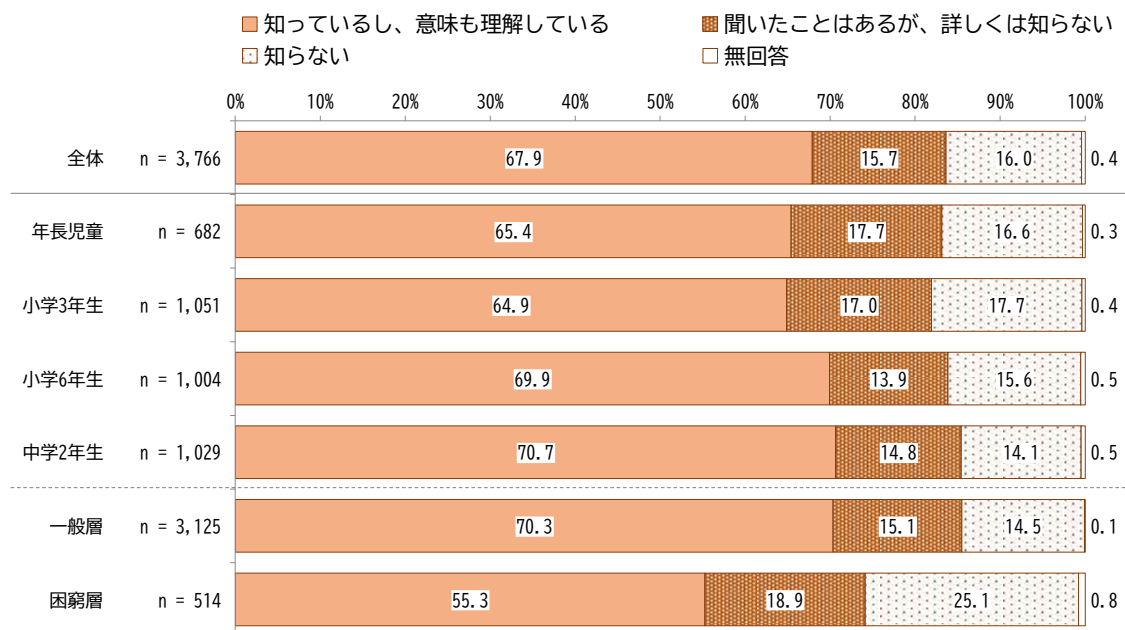


(3) 「ヤングケアラー」の認知度

問 45 あなたは「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。

・「知っているし、意味も理解している」が67.9%で最多、「知らない」が16.0%と続く

図表 81 「ヤングケアラー」という言葉の認知度



1 1 自由意見（抜粋）

（１） お子さんの生活について

- ・オーレンプラザや市民プラザの遊び場は、子どもが小学生になる前はよく遊びに行っていて、とても楽しかった。
- ・年齢が上がると利用できなくなる施設、サービスがあり、結果、家の中で過ごすことが多くなってしまう。小学生くらいの体の大きな子どもでも楽しめるアクティビティができるような施設があるといいと思う。小さい子がいる施設だと思い切り遊べないので、年齢や身長で区別して、同じ空間にならないようにしてほしい。
- ・休日にも仕事以外の理由で預けられるサービスが増えるとよい。
- ・放課後など、親の代わりに見守ったり、遊んであげたりする大人が必要と感ずることがある。両親共働きで家事をしていると相手をしてあげる時間がない。
- ・放課後児童クラブ以外にも放課後の過ごし方があるとよい。1人での行動はまだ早いような子ども達が何かを習ったり、体を動かしたりできる場所があるとよい。

（２） お子さんの学校・教育について

- ・教員の働き方改革は理解するが、部活動の送り迎えなど保護者への負担が増加した。ひとり親で複数人子どもがいる場合には、手が回り切らず、きょうだいにしわ寄せがいくってしまう。
- ・子ども達のトラブルが学校に都合のよいように判断されているように感じることもある。教員の質の向上や人数増加なしの勤務時間削減は、子ども達にしわ寄せがいくってしまう。
- ・教員の力の差が激しい。子ども達が同じように学べ、安全に過ごせる学校運営をしてほしい。
- ・先生や教育補助員が不足していて、個別対応に限りがあると感ずる。
- ・フリースクールなど不登校児への柔軟な対応をしてほしい。
- ・不登校児やその親に対する相談の場、居場所、情報を提供してほしい

（３） あなたについて

- ・幼少期の子育て支援は充実していると思う。反面、思春期以降の支援が必要だと思う。
- ・大きな悩みがあるわけではないが、それでも誰かに話を聞いてほしいこともある。「親の会」程ではない気軽な話を聞いてくれる場所がほしい。
- ・子どもが3歳までは定期的に健診があり悩みを相談できるが、3歳以上になると相談できる機会がなくなる。3歳以上になっても希望者には定期的に相談できる機会があると嬉しい。
- ・子育てひろばや支援センターで話を聞いてもらえただけで救われた。
- ・子どもの困りごとに対して真剣に相談に乗ってくれる人がいない。相談先も分かりにくい。
- ・市の健診で保健師と話す機会があるが、母親を精神的に追い込むような話し方をする時があったので、行きたくなくなった。
- ・保育園や児童クラブは、買物や私用では預けにくい。実家を頼れない人もいる。親の心のケ

アにも力を入れてほしい。

- ・実家が遠いので、すぐに頼れる人がいなかった。いつでも頼れる場所があると心強い
- ・離婚できていないひとり親世帯へのフォローを少しでもしてほしい。

(4) 仕事の状況について

- ・子どもに関する休暇は特別休暇にしてほしい。子どもの体調不良時以外にも、子どもの学校や園行事等で仕事を休まなければいけないことが多く、毎年早い段階で有給休暇がなくなり、欠勤しなければならない。
- ・共働きによる日曜の子どもの預け先がない。
- ・病児保育の拡充。旧上越市内にはあるが、自宅も職場も旧上越市外なので利用したくても時間的に迎えが間に合わないなどの理由で利用できない。時間を延ばすか、旧上越市外にも施設を作してほしい。利用して、仕事をしたいので困っている。
- ・病児保育の拡充。利用したくても自宅や職場から遠いと時間に間に合わないという理由で利用したくてもできない。
- ・小学生になったら、預けるところがなく、今から不安である。子どもがお留守番できる年齢まで、預かってくれるところを作してほしい。

(5) 家計の状況について

- ・子ども 1 人成長するにかかる費用が高額で苦しいです。共働きをしているが子どもを放置してしまう時間も増える。
- ・ひとり親世帯、非課税世帯への支援が目立つが、共働きのふたり夫婦世帯でも生活は大変である。平等な支援となることを期待する。
- ・経済的に厳しい。習い事や衣料品など子どもに我慢させていることが多い。もっとのびのび育ててあげたい。
- ・使わなくなった学用品などを必要な人のところへ届けられる仕組みがあるとよい。

(6) その他

- ・母親に家事・子育ての負担が偏っているように思う。
- ・学生のときに子どもと関わる機会や親になることとはどういうことなのかを学ぶ機会を確保してほしい。
- ・父母どちらでも子どもを連れて入れるように公共トイレを整備してほしい。
- ・予防接種への補助、学級閉鎖時の子どもの預け先確保など感染症対策を充実してほしい。
- ・障がいがある子ども、グレーゾーンにある子どもへの支援が必要と感じる。
- ・ヤングケアラーの子どもは学校の先生にも話しにくいので、困ったことを相談できる場所と人材を提供してほしい。